

Windows 10の機能更新の管理 関連技術情報集

株式会社 日本HP

サービス・ソリューション事業本部 技術本部 クライアント技術部

2017年8月28日



アジェンダ

- サービスモデル
- 更新プログラムの提供サイクル
- Windows 10の機能アップグレード方法
- 機能更新プログラム展開の管理

サービシングモデル

Windows as a Service

Windows Insider Preview

最新の開発ビルド

- 検証用マシン
- 開発者
- IT管理者

頻繁なリリース



最新化モデル (Current Branch=CB)

一般向けリリース

- コンシューマー
- 早期導入ユーザー
- IT部門

年2, 3回



企業向け最新化モデル (Current Branch for Business=CBB)



企業向けリリース (機能はCBと同じ)

- 一般ユーザー
- オフィスワーカー

CBの約4か月後リリース

固定化モデル (Long Term Servicing Branch=LTSB)



特殊業務・専門デバイス (機能制限あり)

- ミッションクリティカル
- 特殊業務用デバイス

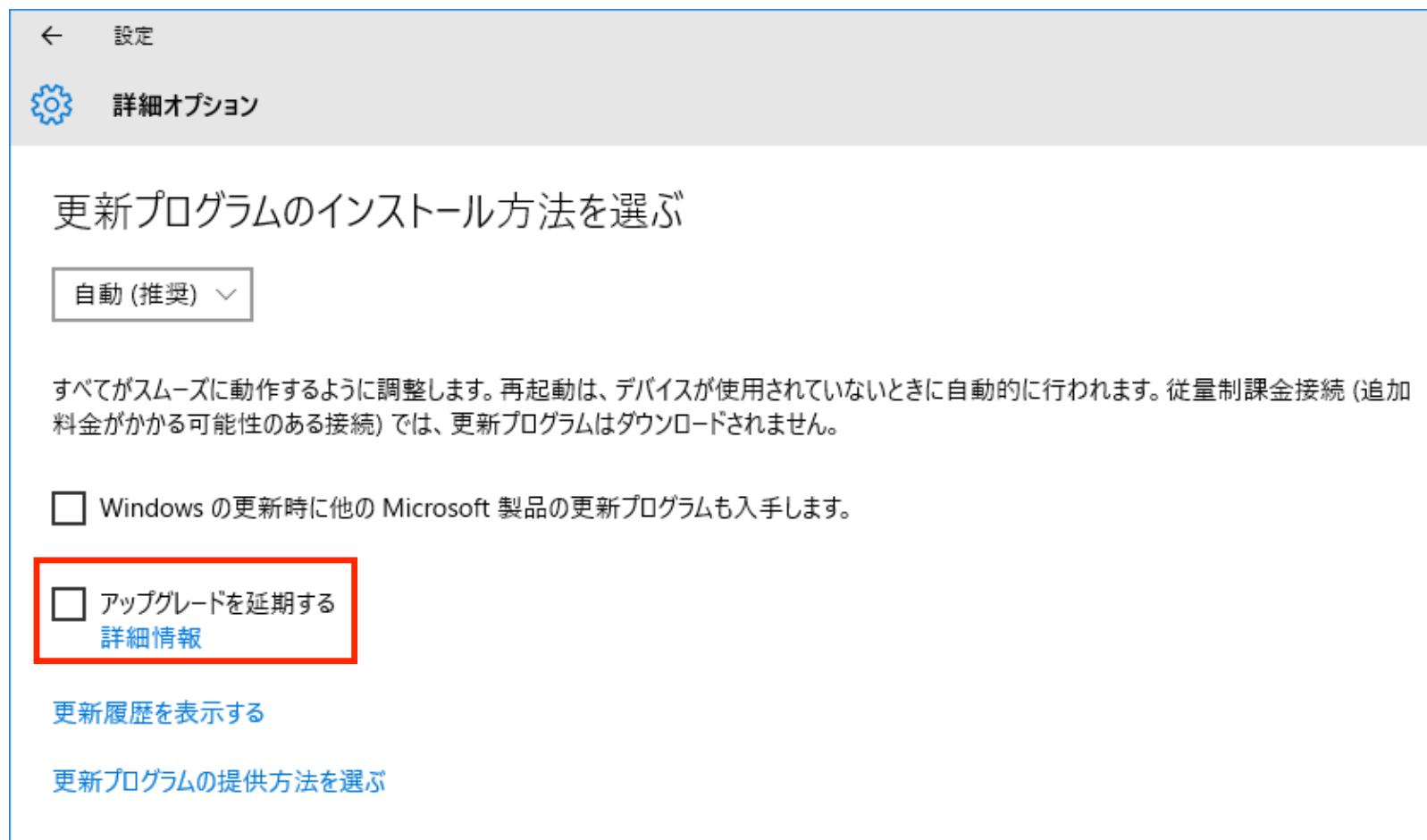
2, 3年に1回リリース

Semi-Annual Channel

Long-Term Servicing Channel

Current Branch(CB)とCurrent Branch for Business(CBB)の違い

Windows Updateの設定の詳細オプションの設定の違いだけ



← 設定

⚙️ 詳細オプション

更新プログラムのインストール方法を選ぶ

自動 (推奨) ▾

すべてがスムーズに動作するように調整します。再起動は、デバイスが使用されていないときに自動的に行われます。従量制課金接続 (追加料金がかかる可能性のある接続) では、更新プログラムはダウンロードされません。

Windows の更新時に他の Microsoft 製品の更新プログラムも入手します。

アップグレードを延期する
詳細情報

[更新履歴を表示する](#)

[更新プログラムの提供方法を選ぶ](#)

Current Branch :

「アップグレードを延期する」のチェックがオフ

Current Branch for Business :

「アップグレードを延期する」のチェックがオン

CBBではアップグレードをCBのリリースから4ヶ月延期

Current Branch(CB)とCurrent Branch for Business(CBB)の違い (v1703以降)

Windows Updateの設定の詳細オプションの設定の違いだけ



The screenshot shows the Windows Update 'Advanced options' (詳細オプション) settings. The 'Update installation method' (更新プログラムのインストール方法を選ぶ) section has the checkbox 'Also get updates for other Microsoft products when Windows updates' (Windowsの更新時に他のMicrosoft製品の更新プログラムも入手します。) unchecked. The 'Choose how to install updates' (更新プログラムをいつインストールするかを選択する) section has a dropdown menu set to 'Current Branch for Business', which is highlighted with a red box. Below this, there are two delay settings: 'Feature updates' (機能更新プログラム) set to 365 days and 'Quality updates' (品質更新プログラム) set to 30 days. At the bottom, the 'Pause updates for 7 days' (更新を7日間一時停止) toggle is turned off.

プルダウンメニューから
Current Branch
または
Current Branch for Business
を選択

CBBではアップグレードをCBのリリースから
4ヶ月延期

さらに更新プログラムのインストールの延期
が可能に

機能更新プログラムは最大365日の延期が可能
品質更新プログラムは最大30日の延期が可能

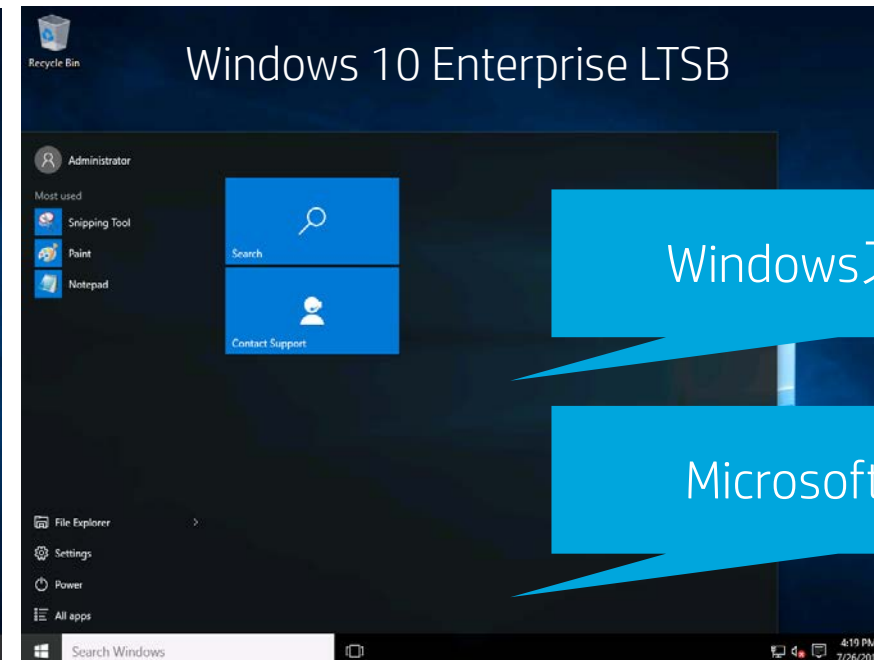


Long-Term Servicing Channel (従来のLTSC)

- 一般的なOA端末には使うべきではない特殊なエディション
10年間セキュリティパッチのみ提供
機能追加・変更は一切なし(ずっとレガシーな環境)
Win10 Enterprise LTSCのVLが必要(別メディア)

例: 航空管制システム、製造ラインの備え付け端末、ATM等のKIOSK端末

- 一般的なガイドラインとして、Microsoft Office がインストールされている PC は汎用デバイスであり、通常はインフォメーション ワーカーが使うため、CB または CBB サービス ブランチの方が適しています。



更新プログラムの提供サイクル

2種類の更新プログラム

機能更新プログラム

機能アップデート (Feature Updates)

新機能を追加

Windows 10のバージョン／ビルドが更新される

年2回を目安として提供

OS全体の入れ替え

現時点では約3.5GBのサイズ

品質更新プログラム

品質アップデート (Quality Updates)

セキュリティ、信頼性、バグの修正

新しい機能は含まれない

Windows 10のバージョン／ビルドは変わらない

Windows 10のバージョンごとに提供される

Version 1511用やVersion 1607用として

毎月1回累積的な更新プログラムとして提供される

前月以前の品質更新プログラムを全て含んだ形で提供

毎月サイズが大きくなる

最終的には1GBを超える可能性も

Windows 10の品質更新 (MS-16-087 – 緊急)

公開日:2016年7月13日

Windows 10			
Windows 10 for 32-bit Systems [2] (3163912)	緊急 リモートでコードが実行される	重要 特権の昇格	3163017
Windows 10 for x64-based Systems [2] (3163912)	緊急 リモートでコードが実行される	重要 特権の昇格	3163017
Windows 10 Version 1511 for 32-bit Systems [2] (3172985)	Windows 10のバージョンごとに別々の更新プログラムとして提供される		
Windows 10 Version 1511 for x64-based Systems [2] (3172985)	緊急 リモートでコードが実行される	重要 特権の昇格	3163018

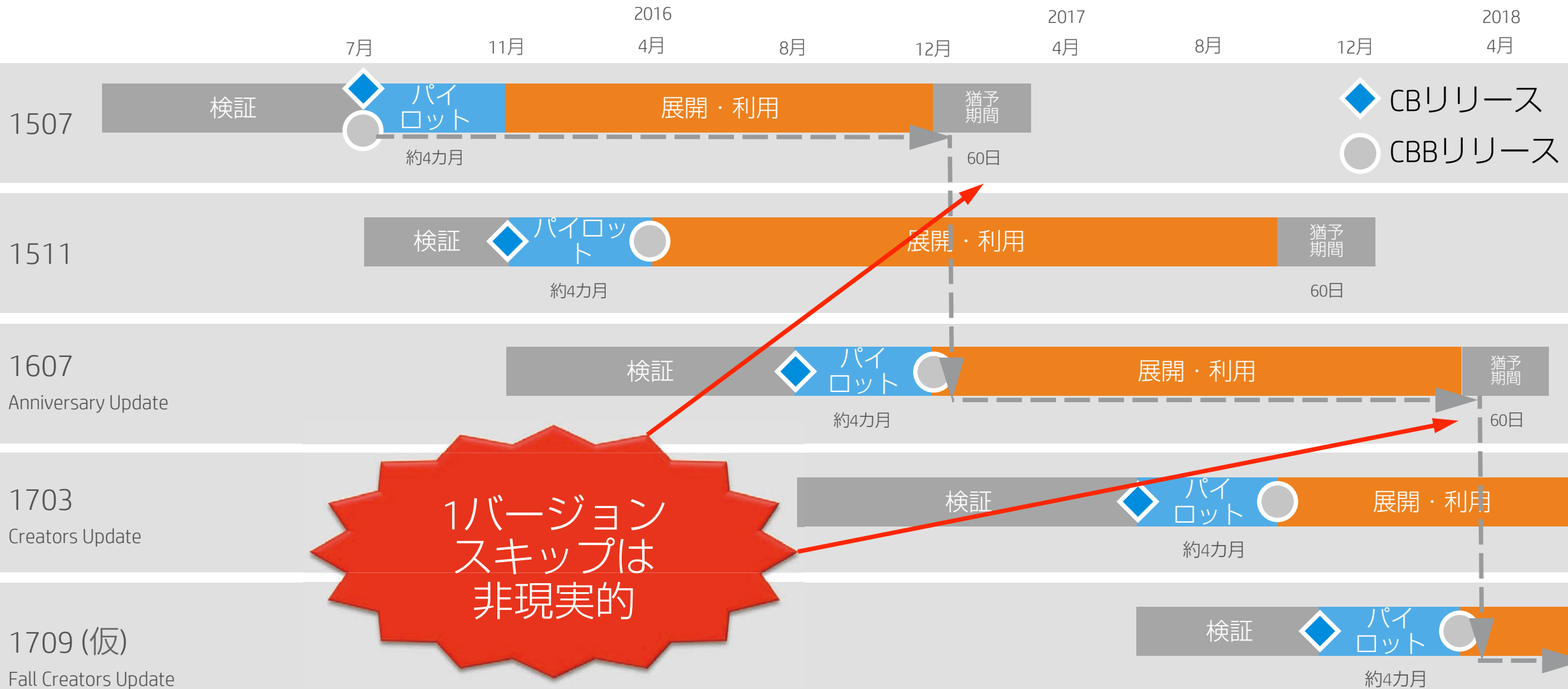
Windows as a Service:リリースライフサイクル



CBリリースのモジュールに
4カ月分の品質更新プログラムを
適用したものを再公開

= CBリリースに
毎月の品質更新プログラムを適用し続けたもの

WaaS:アップデート適用のタイミング



Windows 10の各バージョンのサポート期間

バージョン	提供日	サポート終了
Windows 10 Version 1507	2015年7月29日	2017年5月9日
Windows 10 Version 1511 (TH1)	2015年11月10日	2017年10月10日
Windows 10 Version 1607 (RS1 / Anniversary Update)	2016年8月2日	2018年3月 (仮)
Windows 10 Version 1703 (RS2 / Creators Update)	2017年4月5日	2018年9月 (仮)

- サポート終了とは？

Microsoft が自動修正プログラム、更新プログラム、またはオンライン テクニカル アシスタンスの提供を終了する日付を指します。

Microsoft のサポートがなくなると、危険なウイルス、スパイウェア、個人情報を盗むその他の悪意のあるソフトウェアから PC を保護するために役立つセキュリティ更新プログラムを受け取ることができなくなります。

Windows 10の機能アップグレード 方法

Windows 10 の機能アップグレード方法

以下の方法でWindows 10 を機能アップグレードできます。

1

Windows Updateを使用してアップグレード

2

WSUSを使用してアップグレード

3

SCCM等のPC管理ソリューションを使用してアップグレード

4

Windows 10 インストールメディアを使用してアップグレード

Windows 10メディア作成ツールの入手方法

Windows 10のダウンロードのURL

<https://www.microsoft.com/ja-jp/software-download/windows10>

Microsoft Edge を今すぐお試しください
Windows 10 のための高速で安全なブラウザー

Microsoft スタートアップ 製品 サポート Microsoft.com を検索 サインイン

ソフトウェアのダウンロード Office Windows Windows Insider Preview FAQ

Windows 10 のダウンロード

今すぐアップデート

Windows 10 を実行しています。最新のバージョンへのアップグレードを希望する場合は、**[今すぐアップデート]** をクリックしてください。

[今すぐアップデート](#)


[プライバシー](#)

PC への Windows 10 のインストールをご希望ですか?

開始するには、Windows 10 をインストールするためのライセンスが必要です。その後、メディア作成ツールをダウンロードして実行することができます。ツールの使い方についての詳細は、下の説明をご覧ください。

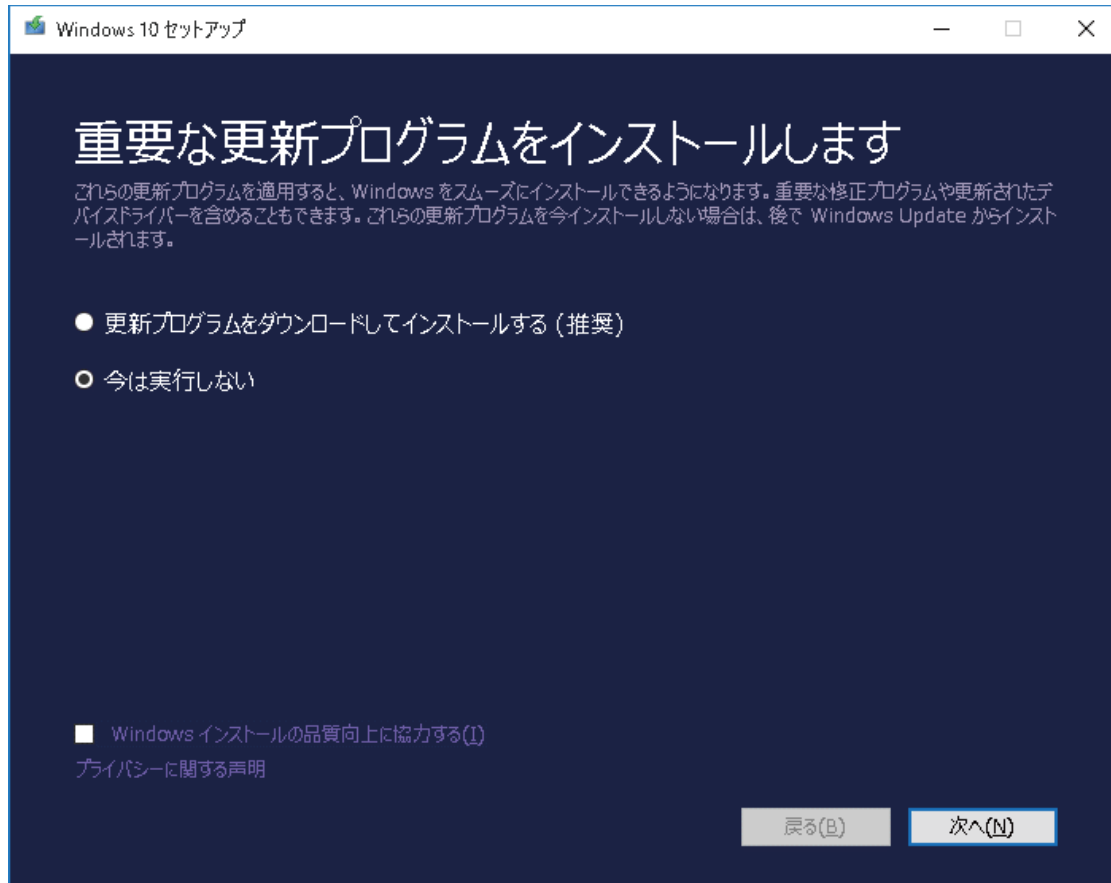
[ツールを今すぐダウンロード](#)

[プライバシー](#)

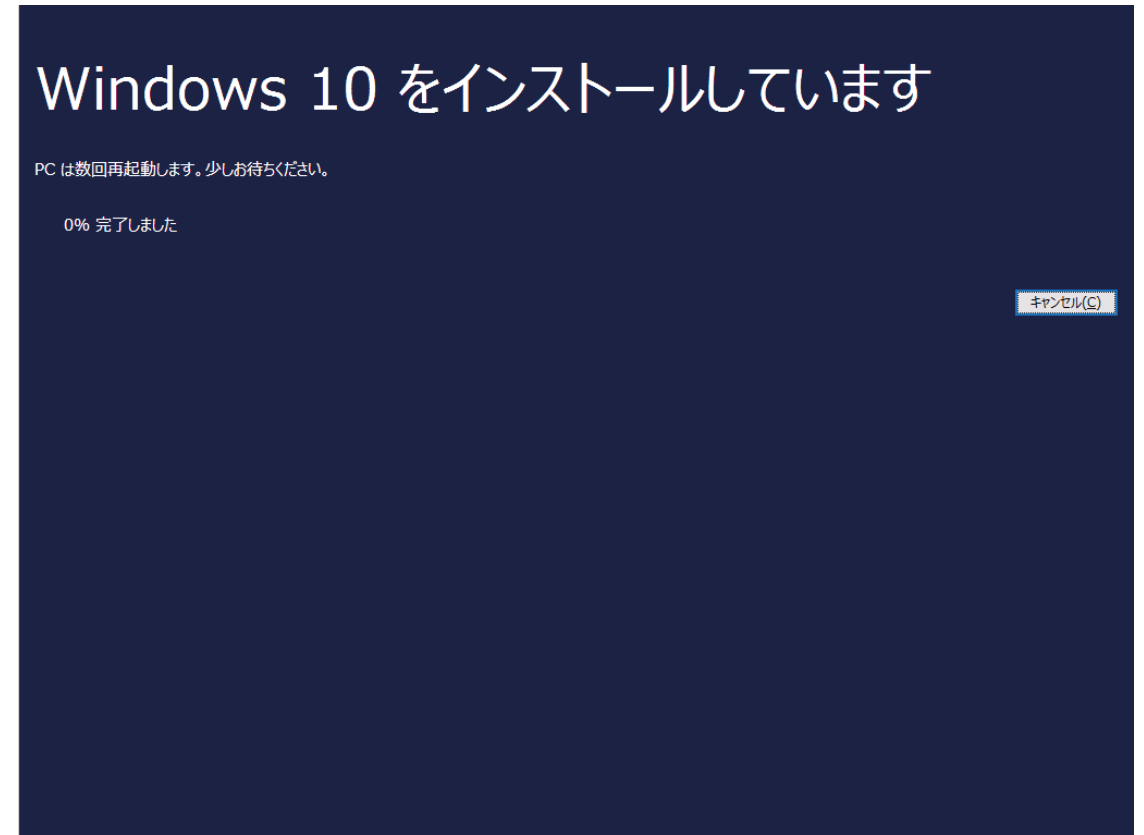
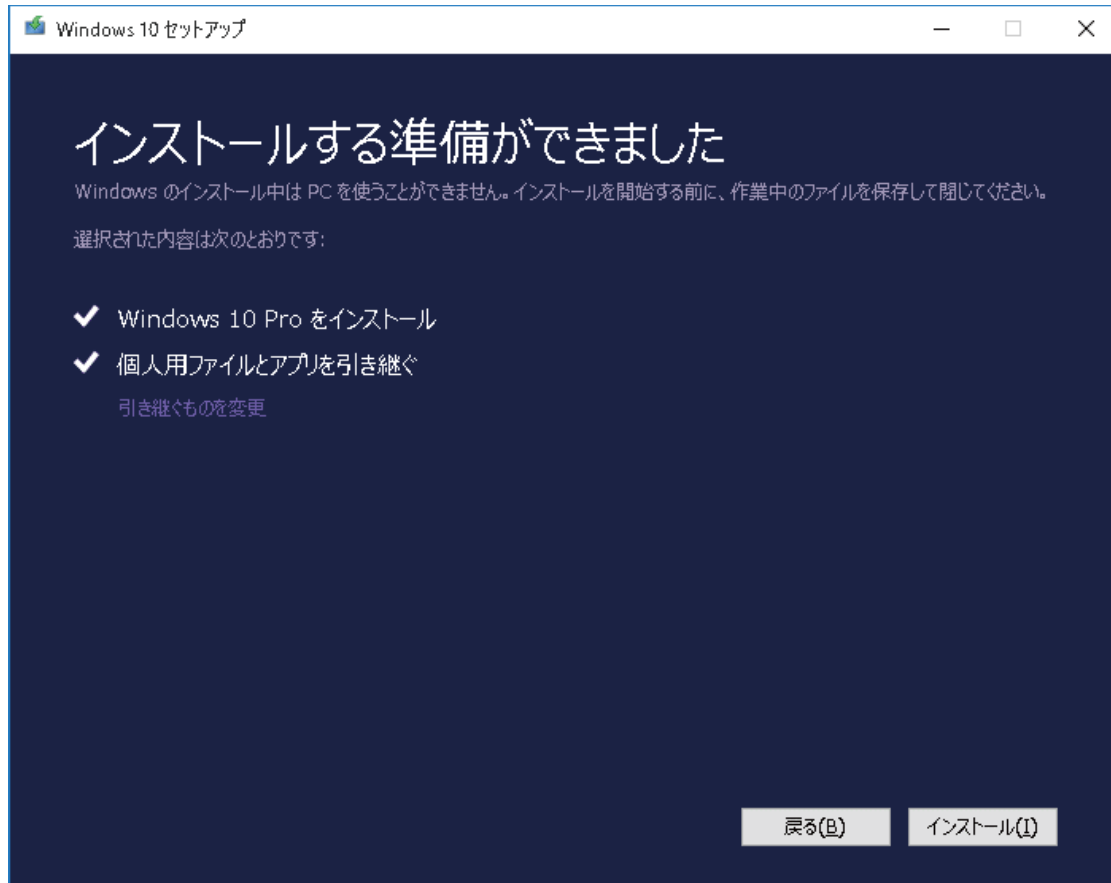


Windows 10メディア作成ツールをダウンロードできます。

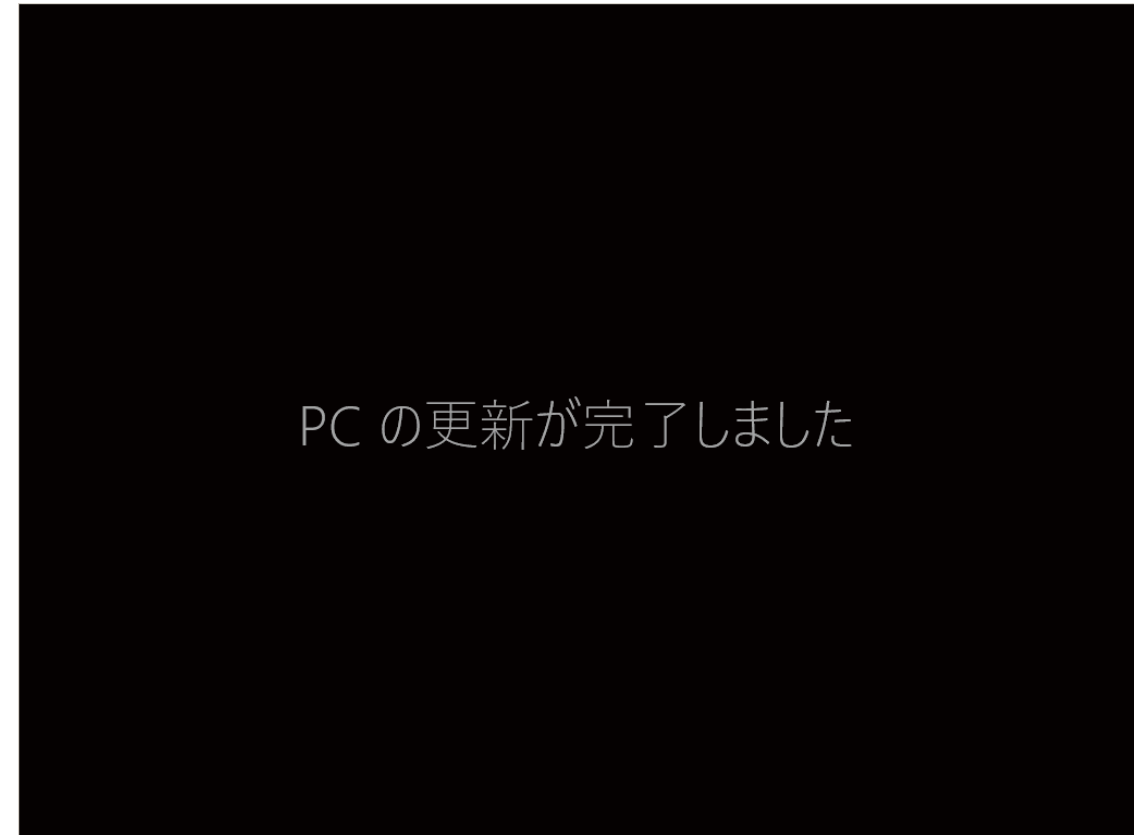
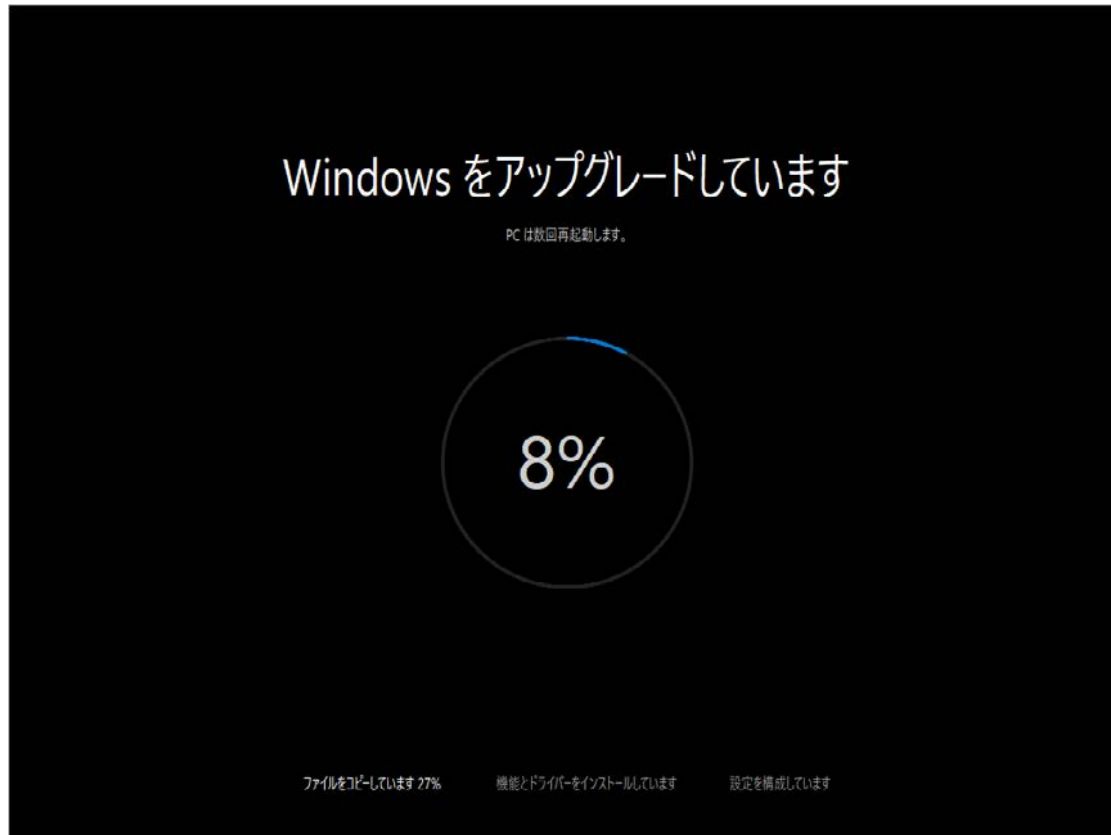
Windows 10 Version 1511インストールメディアによるアップグレード



Windows 10 Version 1511インストールメディアによるアップグレード



Windows 10 Version 1511 インストールメディアによるアップグレード



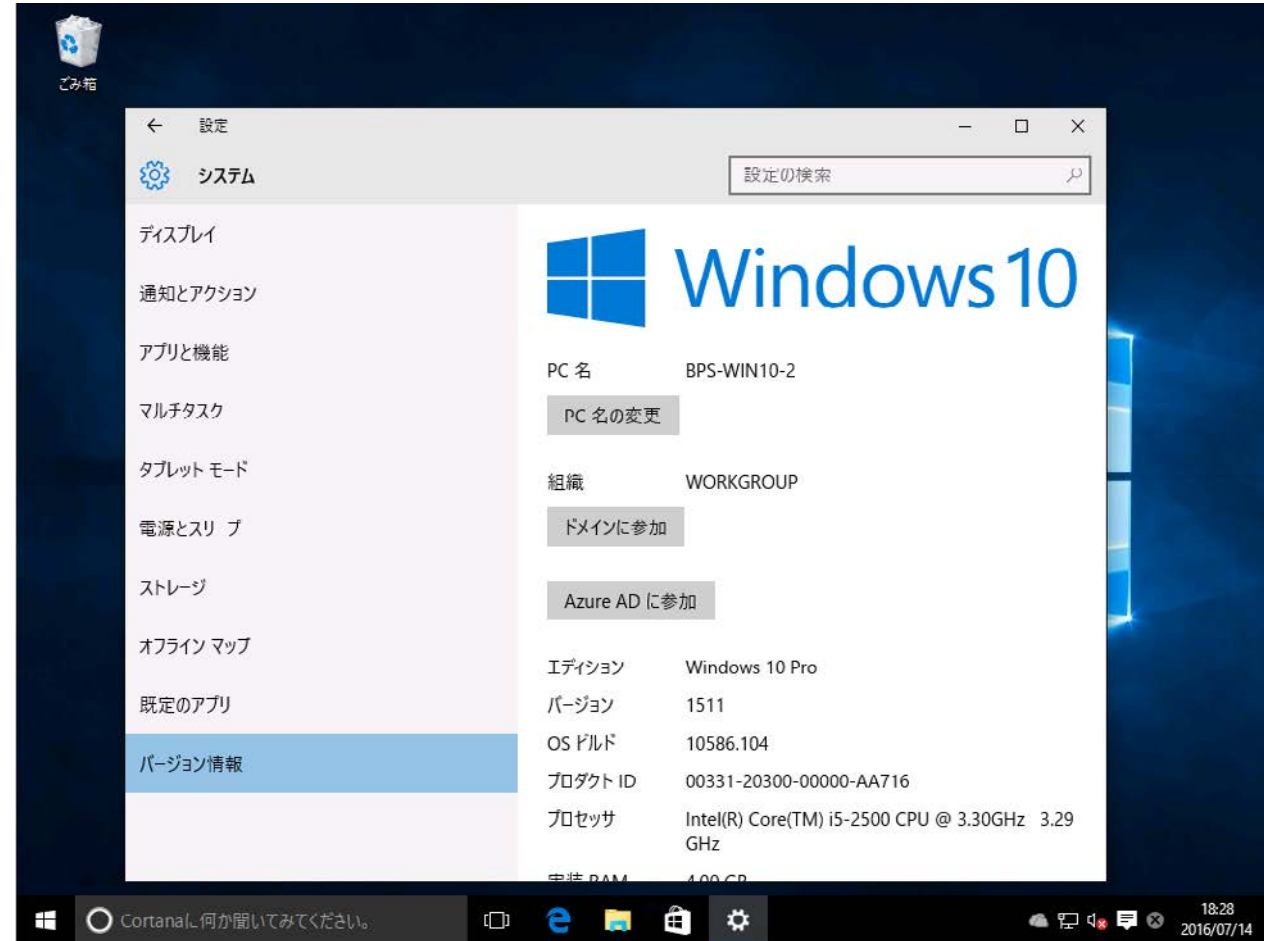
Windows 10 Version 1511インストールメディアによるアップグレード

すべてのファイルはそのまま元の場所にあります

新しい機能が追加されました

Windows 10のバージョンの確認方法

- Windows 10のバージョンは以下から確認できます。
- スタート→設定→システム→バージョン情報



Windows 10アップグレードの注意点

- ソフトウェア暗号化の解除が必要です。
- Windows 10のアップグレードをるす場合、暗号化ソフトウェアのバージョンアップが必要になる場合があります。



- ディスクがサードパーティ製のアプリケーションによって暗号化されている場合、Windows の 10 のアップグレードがクラッシュします。Windows 10 のアップグレードを実施する前に暗号化を解除する必要があります。

※WINMAGIC社の暗号化ソリューションのSecureDocはディスク暗号化した状態でのWindows 10アップグレードに対応しました。

- BitLockerで暗号化された端末のWindows 10ビルドをアップグレードする場合は、暗号化されている状態でアップグレードが可能です。
- [https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt404671\(v=vs.85\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/mt404671(v=vs.85).aspx)

機能更新プログラム展開の管理

何を管理するのか？

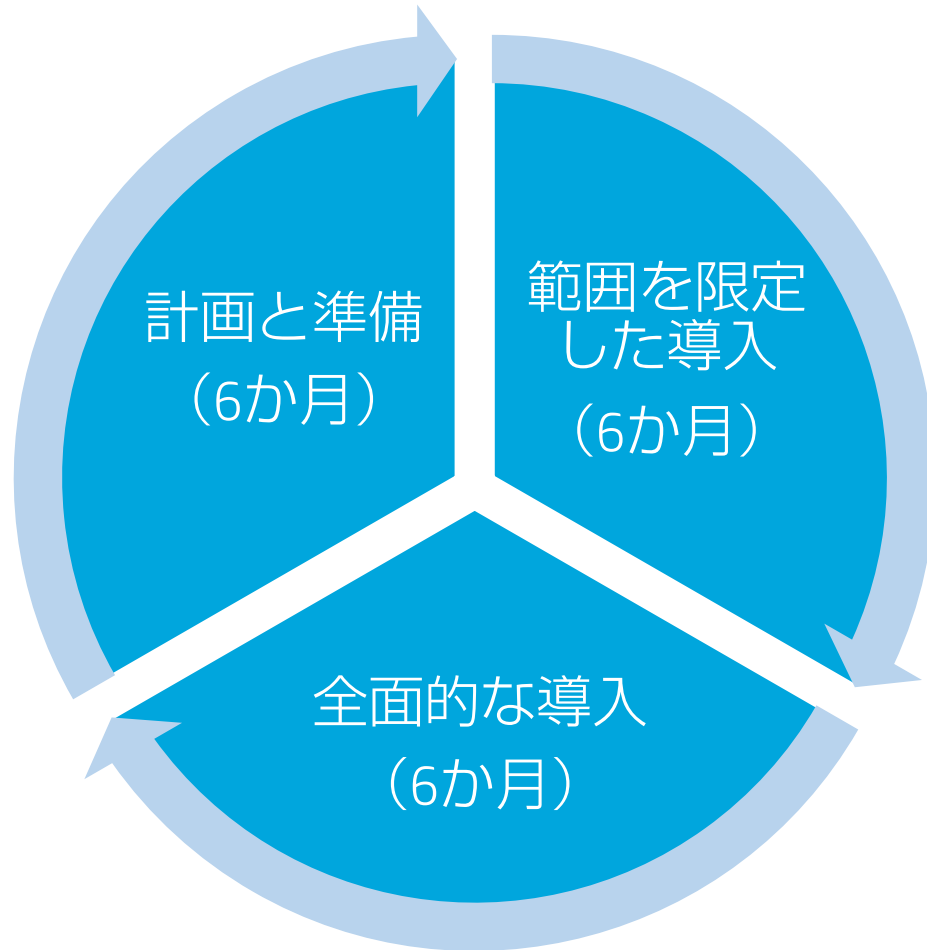
1

Windows 10の機能更新を行う対象のPCとその時期
(展開リング管理)

2

Windows 10の機能更新プログラムによるネットワークトラ
フィック

機能更新プログラムの展開サイクル



- 計画と準備

- Windows Insider Program を利用して、Windows 10 の新機能開発の動向をフォローする (新機能の導入に備える) と共に、互換性評価を行って問題点や懸念点があればフィードバックを提出します。

- 範囲を限定した導入

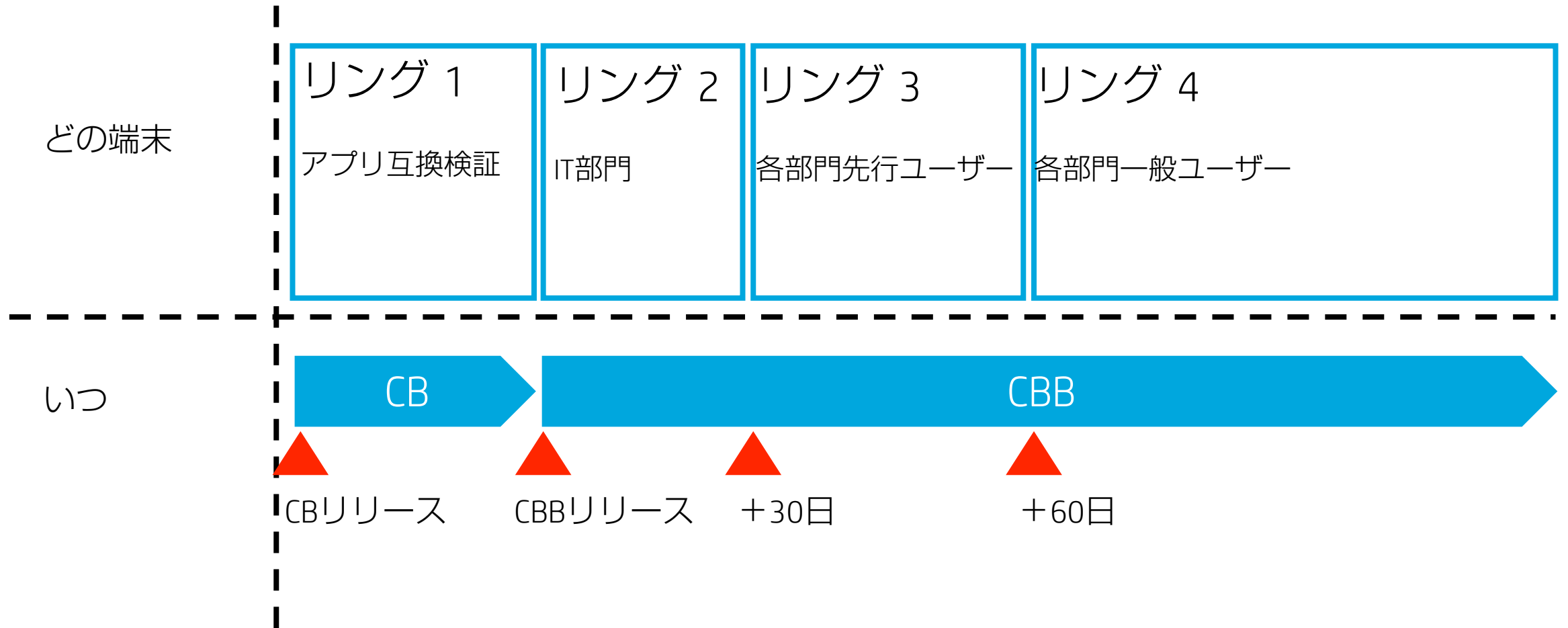
- Semi-Annual Channel の機能更新プログラムがリリースされたら、直ちに一部のマシン (一般的には全体の 10% 程度が目安) を対象とした限定的なパイロット導入を開始して、アプリケーション、デバイス、インフラストラクチャの互換性を評価します。

- 全面的な導入

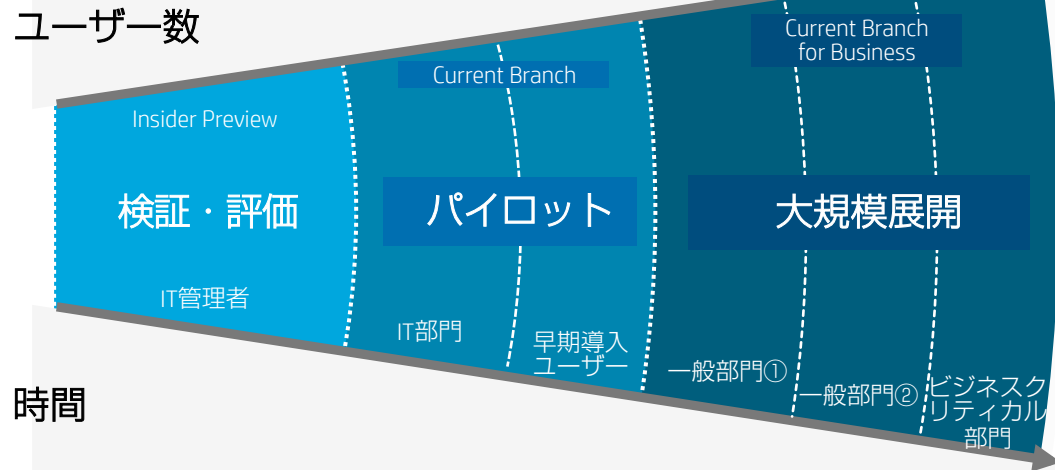
- パイロット導入の結果が良好なら、社内への全面的な導入を開始します。全面的な導入に着手するまでに長期間かかる企業もあれば、すぐに取りかけられる企業もあるでしょう。いつ踏み切るかは皆様の判断次第です。

機能アップデートの計画（Microsoftの推奨例）

端末の利用者のグループ（リング）ごとにいつ適用するかを定義する



展開リングのイメージ



段階的に展開することで、
リスクを最小限に抑える

各フェーズで発生した問題を分析し、
対応可否とプライオリティを付ける

ネットワークの負荷も考慮

※Windows Update for Businessで制御する場合
CBBの展開リングを組織単位(OU)で考慮
→ OUごとにグループポリシーを設定



展開リングの例

5%	IT部門	IT部門の中でも先行して検証・テストする部隊が中心。 検証・テストの近代的な方法論が確立されている場合は Insider Previewを使用するのも可。	CB (IP)
10%	IT部門	一般ユーザーへの展開の準備。 IT部門内で広範にテスト。	CB
20%	早期導入 ユーザー	各業務部門内の一部のユーザーに、合意のもと早期導入(強制 でなくボランティア的)。 積極的なフィードバックを返してくれる社員が理想。	CBB
50%	一般ユーザー	各業務部門内の半数程度のユーザーに、IPアドレスやマシン 名等が無作為に導入。 部門が偏らないようにするが、ビジネスクリティカルな部門 は避ける。	CBB
100%	一般ユーザー	全ての部門を対象として導入する。 50%→100%を一気に展開するのではなく、可能であればここ でも10%くらいずつ段階的に展開(対象は無作為に抽出)。	CBB

機能更新プログラムの展開を制御する方法

- Windows 10 インストールメディア (スタンドアロン)
 - MicrosoftからWindows 10インストールメディア作成ツールをダウンロードして作成したインストールメディアを使用して利用者が任意のタイミングでアップグレードする事ができます。
- Windows Update (スタンドアロン)
 - IT 担当者が CBB サービス ブランチに入るデバイスを手動で構成できるように、機能更新プログラムに対する限られた制御を提供します。 Windows 10 クライアントで、[スタート]、[設定]、[更新とセキュリティ]、[詳細オプション]の順に選択し、[アップグレードを延期する]チェック ボックスをオンにすることで、どのデバイスの更新プログラムを延期して CBB サービス ブランチにとどまるか、または CB のままにするかを制御できます。
- Windows Update for Business (グループポリシー / Intune)
 - Windows 10バージョン 1511 では、Windows Update for Business を使って、機能更新プログラムを最大 8 か月間、品質更新プログラムを最大 4 週間、延期することができます。
 - Windows 10バージョン 1607 以降では、Windows Update for Business を使って、機能更新プログラムを最大 180 日間、品質更新プログラムを最大 30 日間、延期することができます。
- Windows Update Services(WSUS)
 - Windows 10 更新プログラムに対する広範囲の制御を提供し、Windows Server OSの標準機能として利用できます。更新プログラムを延期できることに加えて、更新プログラムの承認層を追加し、準備できるたびに特定のコンピューターまたはコンピューターのグループに展開することを選択できます。
- System Center Configuration Manager (SCCM)
 - サービスとしての Windows の操作を最大限に制御できます。IT 担当者は、更新プログラムを延期、承認することができ、展開のターゲットを設定し、帯域幅の使用と展開回数を管理するための複数のオプションを選択できます。

Windows Updateからの機能更新プログラムの延期 (Windows Update for Business)

機能更新プログラムの受信の延期を制御する事ができるグループポリシー

コンピューターの構成/管理用テンプレート/Windowsコンポーネント/Windows Update/Windows Updateの延期

機能更新プログラムをいつ受信するかを選択してください

機能更新プログラムをいつ受信するかを選択してください

前の設定(P) 次の設定(N)

未構成(C) コメント:

有効(E)

無効(D)

サポートされるバージョン: Windows Server 2016 以降または Windows 10 以降

オプション: ヘルプ:

受信する機能更新プログラムのブランチ準備レベルを選択してください:

Current Branch for Business

機能更新プログラムがリリースされた後、受信を延期する日数:

180

機能更新プログラムの一時停止

このポリシーを有効にすると、どのような種類の機能更新プログラムをいつ受け取るかを指定できます。

新しい Windows 10 機能更新プログラムに対するブランチ準備レベルは、最初は "Current Branch" (CB) リリースと想定されます。これは、組織が初期展開に使用するリリースです。エンタープライズ展開に使用できることが確認された機能更新プログラムは、ブランチ準備レベル "Current Branch for Business" (CBB) として宣言されます。

機能更新プログラムの受信を最大 180 日間延長できます。

スケジュールした時刻になっても機能更新プログラムが受信されないようにする場合は、機能更新プログラムを一時停止できます。一時停止は、60 日間またはチェック ボックスをオフにするまで有効です。

注: "利用統計情報の許可" ポリシーが 0 に設定されている場合、このポリシーによる影響はありません。

OK キャンセル 適用(A)

ポリシーの設定内容

- 受信する機能更新プログラムの準備レベルを選択
 - Current Branch (CB)
 - Current Branch for Business (CBB)
- 機能更新プログラムがリリースされた後、受信を延期する日数を最大180日で設定
- 機能更新プログラムの一時停止をチェックするとスケジュールされた日になった後、60日間またはチェックを外すまで機能更新プログラムを受信するのを一時停止できます。
- 最大で240日の延期が可能です。

Windows Updateからの品質更新プログラムの延期 (Windows Update for Business)

品質更新プログラムの受信の延期を制御することができるグループポリシー

コンピューターの構成/管理用テンプレート/Windowsコンポーネント/Windows Update/Windows Updateの延期

The screenshot shows the Windows Group Policy Editor window titled "品質更新プログラムをいつ受信するかを選択してください". The policy is set to "有効(E)". The "サポートされるバージョン" is "Windows Server 2016 以降または Windows 10 以降". The "品質更新プログラムがリリースされた後、受信を延期する日数" is set to 30. The "品質更新プログラムの一時停止" checkbox is checked. The "ヘルプ" section contains the following text: "このポリシーを有効にすると、品質更新プログラムをいつ受信するかを指定できます。品質更新プログラムの受信を最大 30 日間延期することができます。スケジュールした時刻になっても品質更新プログラムが受信されないようにする場合は、品質更新プログラムを一時停止できます。一時停止は、35 日間またはチェック ボックスをオフにするまで有効です。注: "利用統計情報の許可" ポリシーが 0 に設定されている場合、このポリシーによる影響はありません。"

ポリシーの設定内容

- 品質更新プログラムがリリースされた後、受信を延期する日数を最大30日で設定
- 品質更新プログラムの一時停止をチェックするとスケジュールされた日になった後、35日間またはチェックを外すまで機能更新プログラムを受信するのを一時停止できます。
- 最大で65日の延期が可能です。

Windows Updateの自動更新を無効化したい

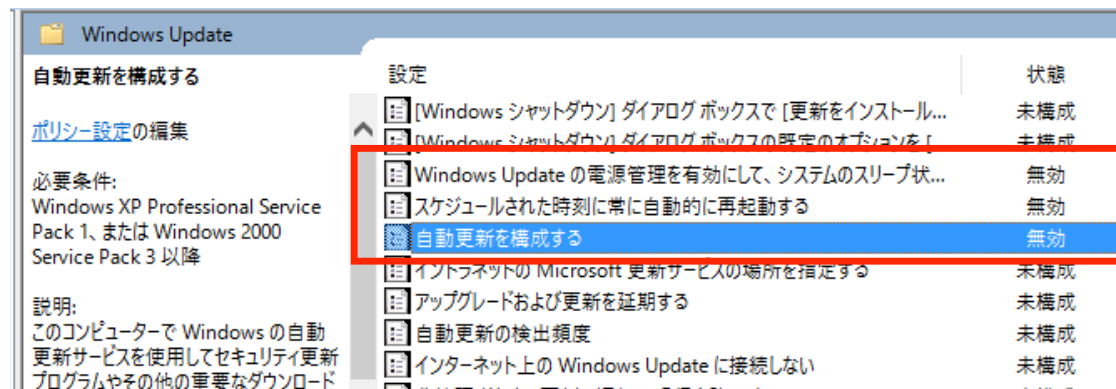
グループポリシーエディターで以下の3つのポリシーを無効に設定します。

場所：

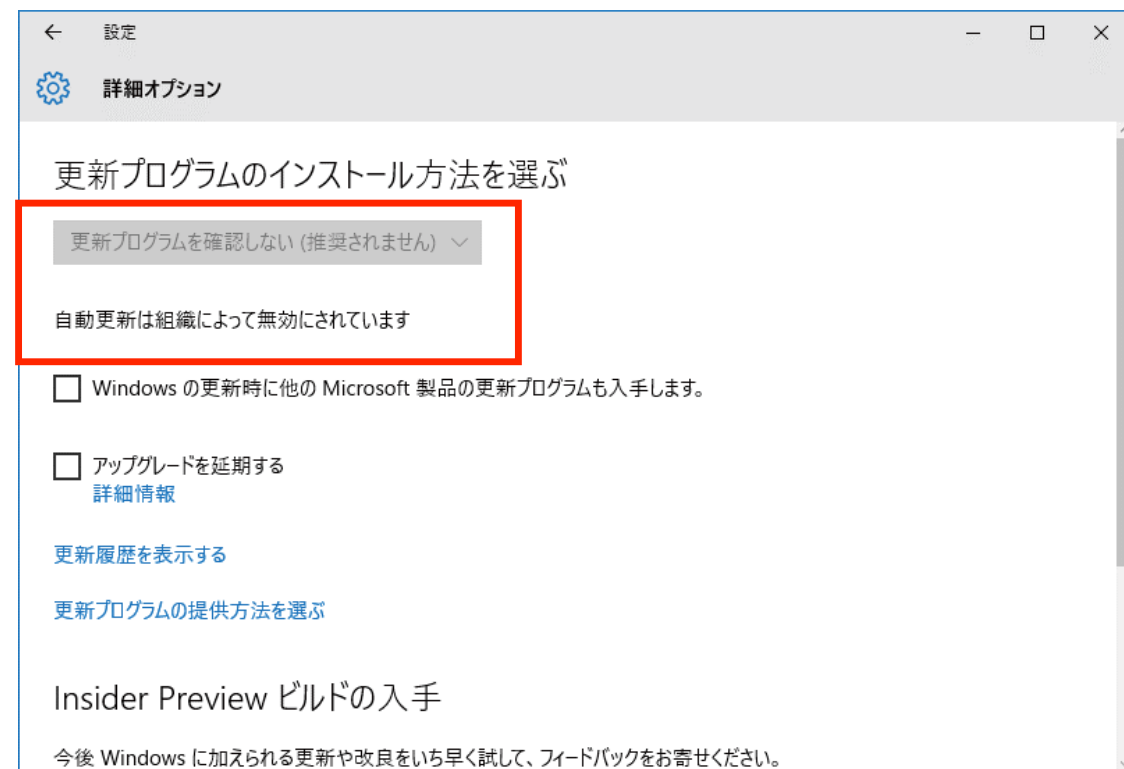
コンピュータの構成\管理用テンプレート\Windows コンポーネント\Windows Update

設定：

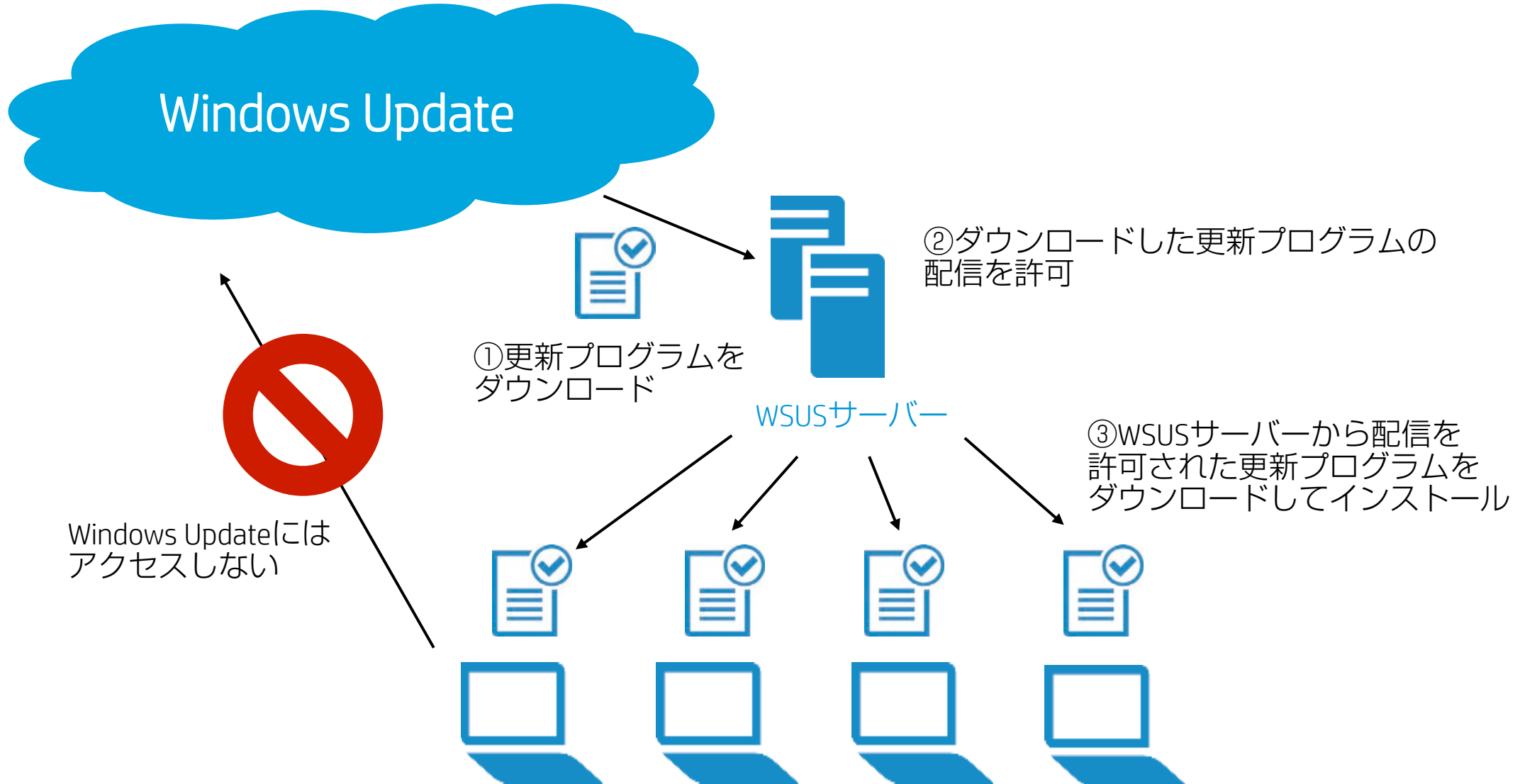
- Windows Updateの電源管理を有効にして...
- スケジュールされた時刻に常に自動的に再起動する
- 自動更新を構成する



自動更新が無効になります
※Pro以上のエディションの場合です



WSUSを使用した更新プログラムの管理



WSUSを使用して更新プログラムの適用を管理したい

グループポリシーエディターで以下の3つのポリシーを設定します。

場所：

コンピュータの構成\管理用テンプレート\Windowsコンポーネント\Windows Update

設定：

- 自動更新を構成する
- イン트라ネットのMicrosoft更新サービスの場所を指定する
- インターネット上のWindows Updateに接続しない
- クライアント側のターゲットを有効にする

自動更新を構成する（オプション設定）

オプション:

自動更新の構成:

- 3 - 自動ダウンロードインストールを通知
- 2 - ダウンロードとインストールを通知
- 3 - 自動ダウンロードインストールを通知
- 4 - 自動ダウンロードインストール日時を指定
- 5 - ローカルの管理者の設定選択を許可

インストールを実行する日: 0 - 毎日

インストールを実行する時間: 03:00

イントラネットのMicrosoft更新サービスの場所を指定する（オプション設定）

オプション:

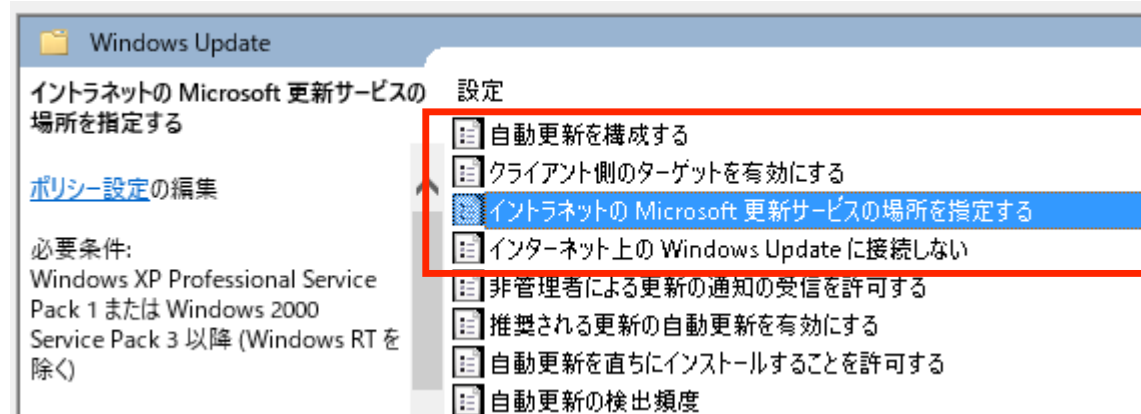
更新を検出するためのイントラネットの更新サービスを設定する:

http://W2K12-WSUS:8530

イントラネット統計サーバーの設定:

http://W2K12-WSUS:8530

(例: http://IntranetUpd01)



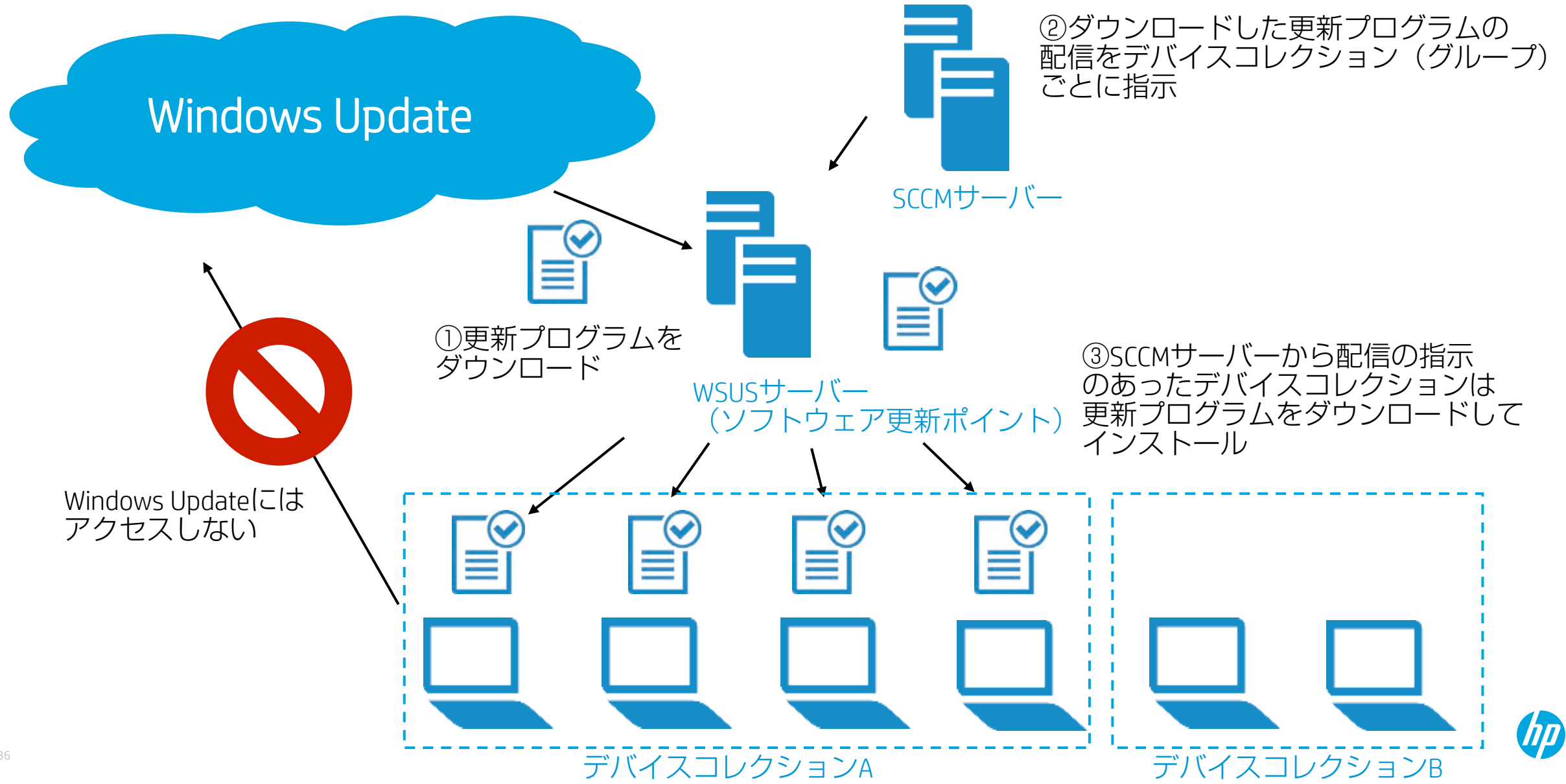
WSUSを使用した更新プログラムの適用管理

- 更新プログラムはWin10のOSビルドバージョンごとに提供されます。
- 現在バージョン1511が最新であるためWindows 10用とWindows 10 Version 1511用の2種類があります。
- 1511用の更新プログラムはWindows 10バージョン1511以外のコンピュータに対しては[該当しない]コンピュータとなり適用されません。

重要な更新プログラム (2493 件の更新 (2516 件中) を表示、合計 55835 件)			
承認(P):	状態(S):	最新の情報に更新(R)	
承認(P):	状態(S):	イン...	承認
⚠		Windows 10 for x64-based Systems 用 Internet Explorer ...	50% 未承認
⚠		Windows 10 for x64-Based Systems 用更新プログラム (KB30...	50% 未承認
⚠		Windows 10 for x64-Based Systems 用更新プログラム (KB31...	50% 未承認
⚠		Windows 10 for x64-Based Systems 用更新プログラム (KB31...	0% 未承認
		Windows 10 Version 1511 for x64-based Systems 用 Inter...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 用 Internet Explorer Flash Playe...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 用の累積的な更新プログラム (KB311...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 用の累積的な更新プログラム (KB312...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 用の累積的な更新プログラム (KB312...	100% 未承認
		Windows 10 Version 1511 用の累積的な更新プログラム (KB314...	100% 未承認

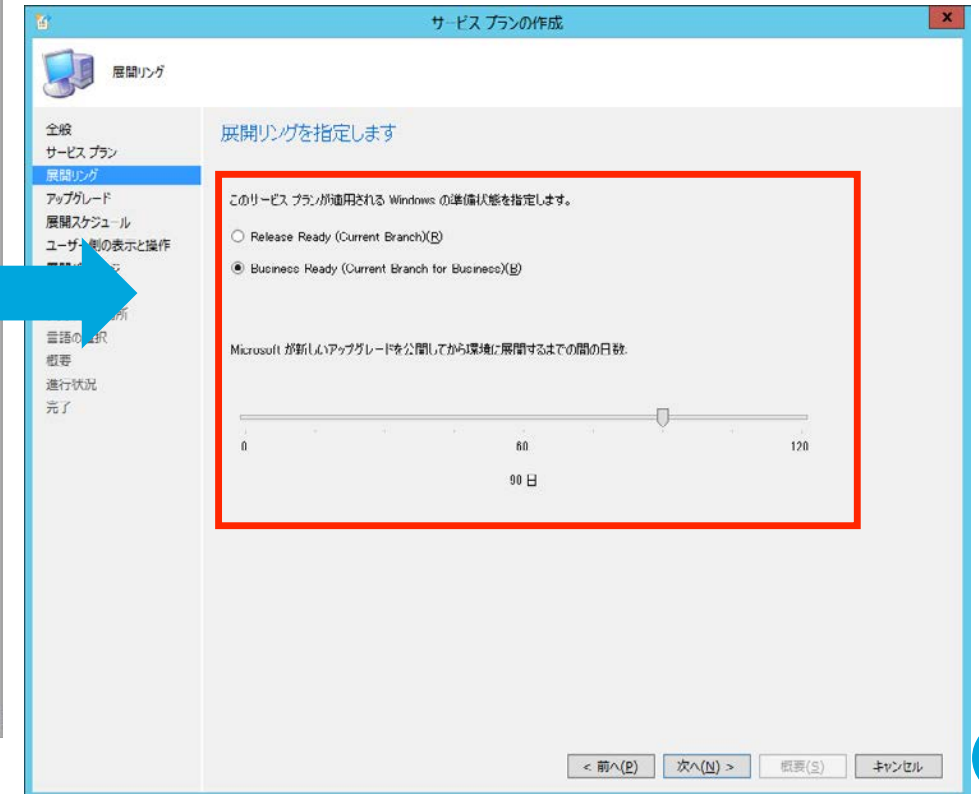
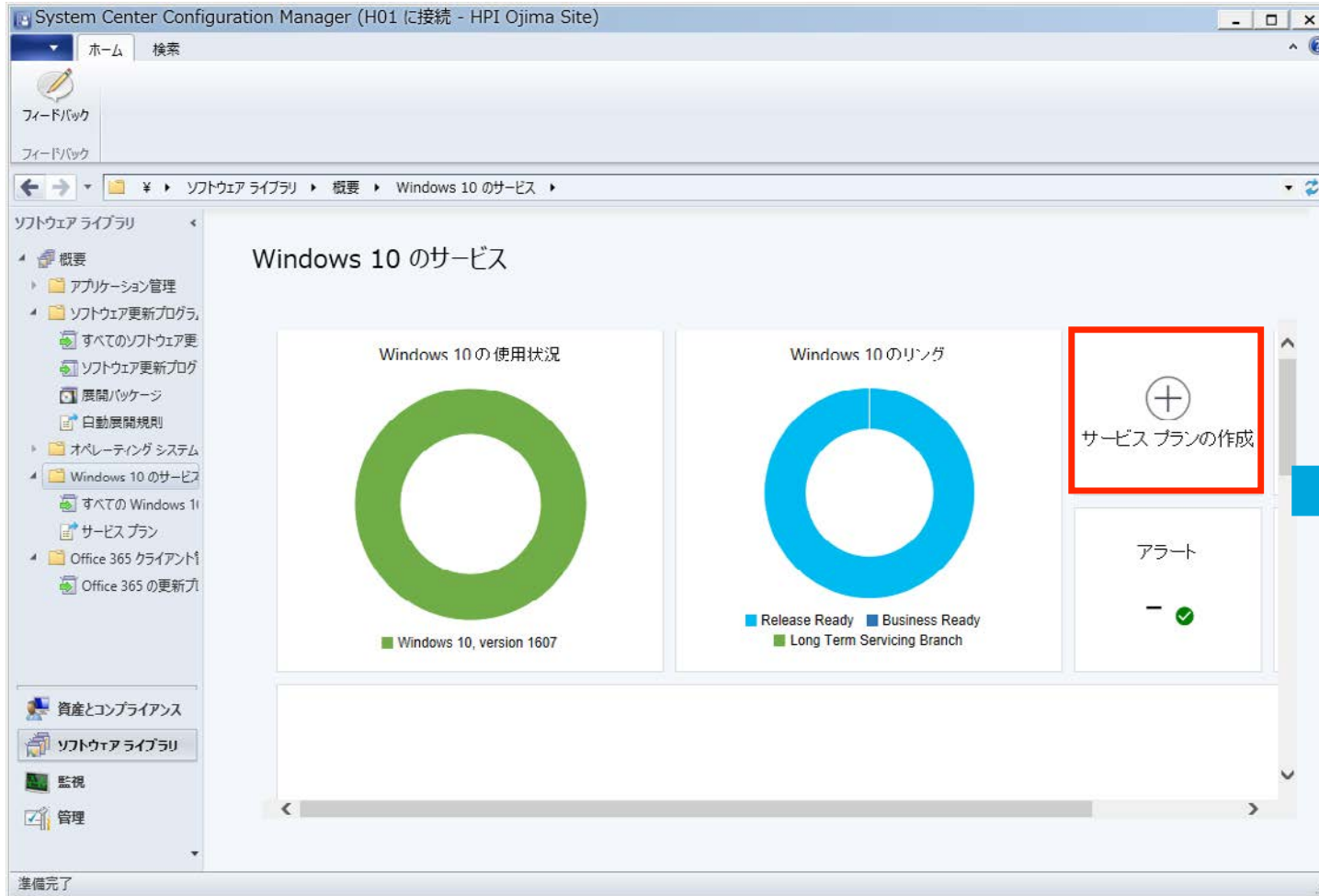
Windows 10 Version 1511 for x64-based Systems 用 Inter...	100%	未承認
Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100%	未承認
Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100%	未承認
Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プ...	100%	未承認
Windows 10 Version 1511 用 Internet Explorer Flash Playe...	100%	未承認
Windows 10 Version 1511 用の累積的な更新プログラム (KB311...	100%	未承認
Windows 10 Version 1511 for x64-Based Systems 用更新プログラム (KB3116278)		
状態:		
	エラーが発生したコンピューター:	0
	この更新プログラムが必要なコンピューター:	0
	インストール済みまたは該当しないコンピューター:	2
	状態が報告されていないコンピューター:	0
MSRC 重要度:		
セキュリティ番号:		
リリース日:		
サポート技術情報の文書		
説明		
この更新プログラムをインストールすると、Windows の問題が修正されます。この更新プログラムの対象となる問題の完全な一覧については、サポート技術情報を参照してください。インストール後は、コンピュータの再起動が必要になる場合があります。		

SCCMを使用した更新プログラムの管理



SCCMによるWindows 10の展開リング管理

サービスプランを作成して
デバイスコレクション（グループ）ごとに
機能更新プログラムの展開を
スケジュール可能です。



更新プログラムの配信のネットワークトラフィックの最適化： P2PキャッシュとBranchCache

サーバーとデータセンターがボトルネック
ネットワークエッジのほうが、
キャパシティに余裕がある

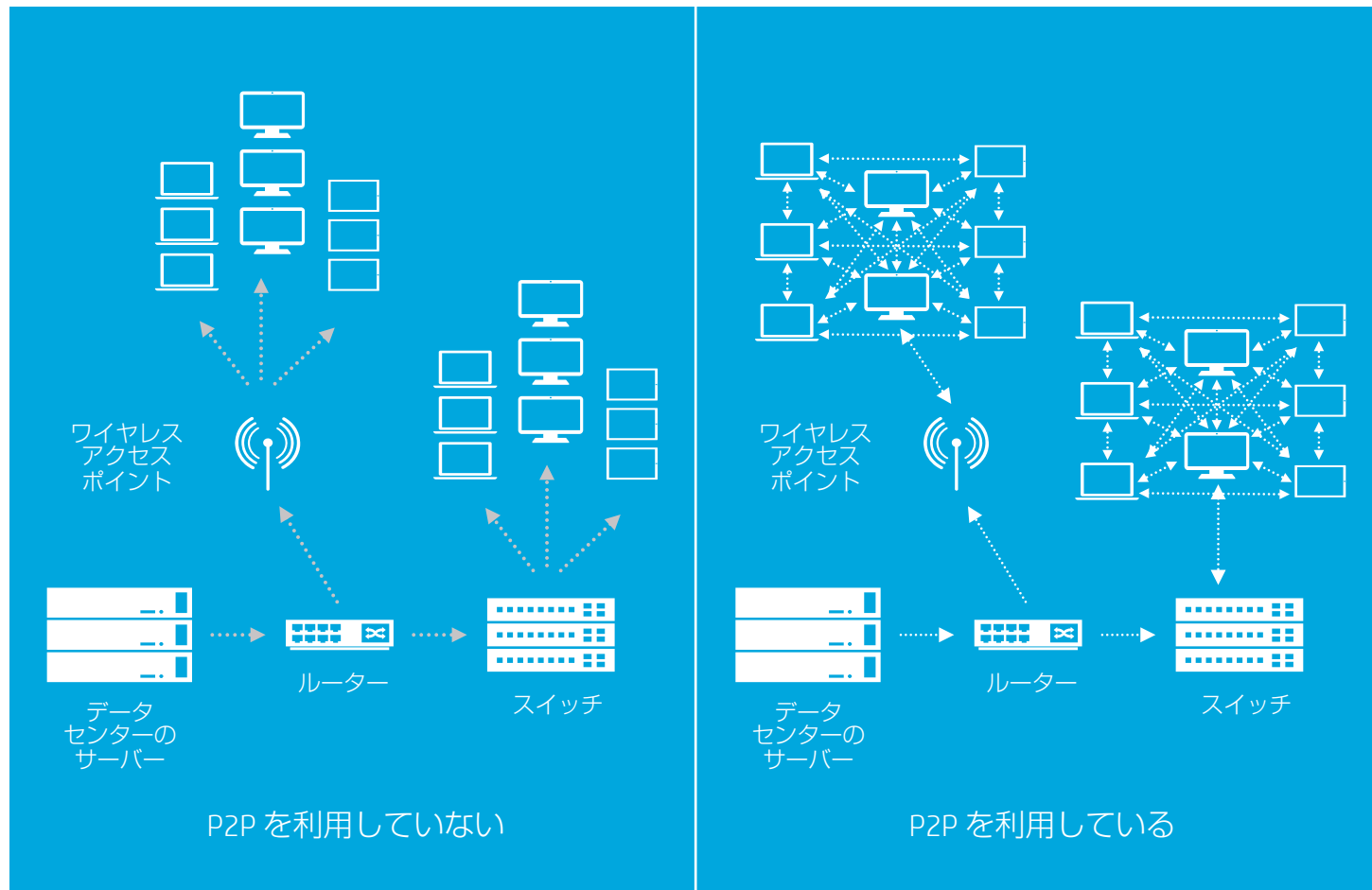
P2Pテクノロジーを使用して、
トラフィックをエッジにシフト

- BranchCache
(WSUS、Configuration Manager を使用)
- 配信を最適化
(WU、WU for Business 経由)

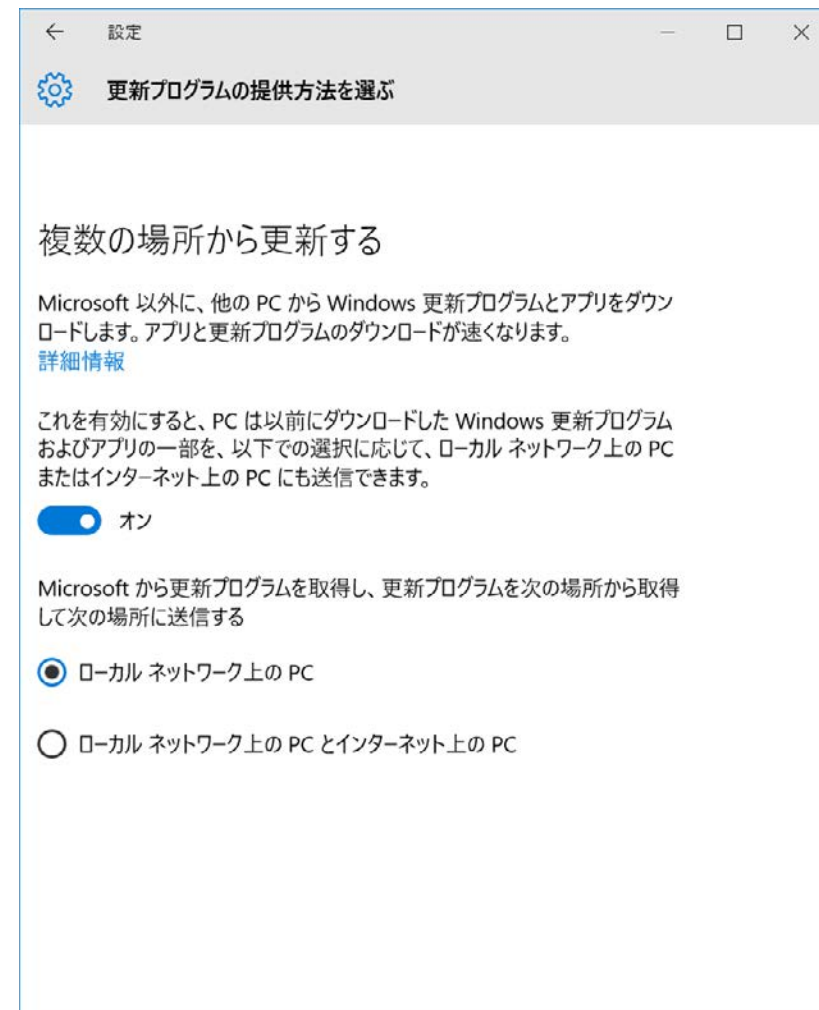
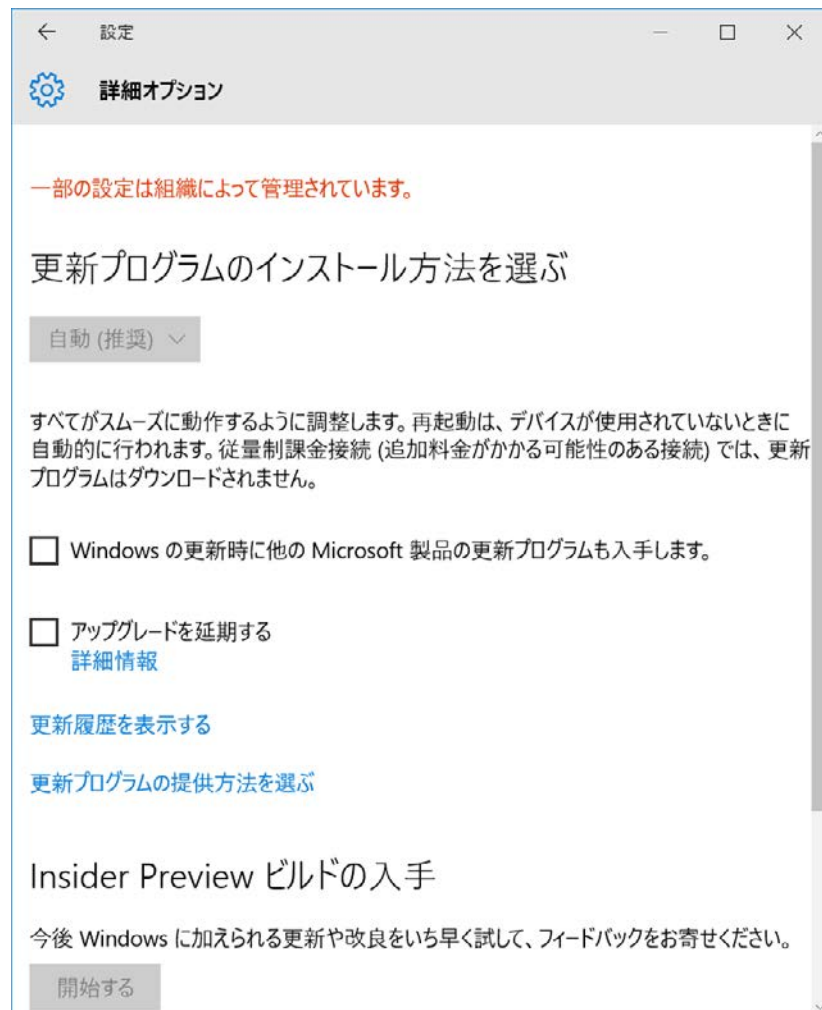
90%以上のトラフィックをシフト可能

実装しやすく、
オフィスの規模を問わず有用性が高い

ROIをすぐに実現



配信の最適化のための設定



配信の最適化のための設定 (GPO)

グループポリシーエディターで以下のポリシーを設定します。

場所：

コンピュータの構成\管理用テンプレート\Windows
コンポーネント\Delivery Optimization

設定：

ダウンロードモード

ダウンロードモードを設定します。

グループID

グループIDを設定します。

最大キャッシュ時間

キャッシュを保持する期間を設定します。

最大キャッシュサイズ

キャッシュの最大サイズを設定します。

最大アップロード帯域幅

更新プログラムを送信する際の最大帯域を設定します。
0~9999 (KB)

ダウンロードモードの種類

モード	Version 1511	Version 1607
HTTPのみ	HTTP (WU、WSUS) のみピアリングなし	
LAN	HTTP 同一ネットワーク上のピアリング	
インターネット	HTTP 同一ネットワークとインターネットによるピアリング	
グループ	同一ADドメイン 同一グループID	同一ADドメイン 同一ADサイト 同一グループ
バイパス		配信最適化は使用 されずBITSを利用
簡易		配信最適化サービ スへの接続なし、 HTTPのみ

BITS制御

グループポリシーエディターで以下のポリシーを設定します。

場所：

コンピュータの構成\管理用テンプレート\ネットワーク\
バックグラウンド インテリジェント転送サービス(BITS)

設定：

BITS バックグラウンド転送の最大ネットワーク帯域幅を制限する

期間（開始時刻と終了時刻）を決めてバックグラウンド転送が使用するネットワーク帯域幅を制限する事ができます。

例：

8 AM~5 PMの間はバックグラウンド転送レートを1000Lbpsに制限する

The screenshot shows the Group Policy Editor window for the policy "BITS Background Transfer Maximum Network Bandwidth Limitation". The policy is currently set to "Enabled". The supported versions are listed as "Windows XP SP2 or Windows Server 2003 SP1, or a computer with BITS 2.0 installed". The "Options" section is configured with a bandwidth limit of 1000 Kbps, starting at 8 AM and ending at 5 PM. A checkbox is checked for "Use available bandwidth when not in use". The "Help" section provides detailed instructions on how the policy works, including that it only applies to BITS and not to File Transfer Protocol (FTP). The "OK" button is highlighted.

BITS バックグラウンド転送の最大ネットワーク帯域幅を制限する

前の設定(P) 次の設定(N)

未構成(C) コメント:

有効(E)

無効(D)

サポートされるバージョン: Windows XP SP2 または Windows Server 2003 SP1、または BITS 2.0 のインストールされているコンピューター

オプション: ヘルプ:

バックグラウンド転送レート (Kbps) の制限値:
1000

開始 8 AM

最大 5 PM

それ以外の時

未使用で利用可能な帯域幅をすべて使用する

または

バックグラウンド転送レート (Kbps) の制限値:
20

このポリシー設定は、バックグラウンド インテリジェント転送サービス (BITS) によってバックグラウンド転送に使用されるネットワーク帯域幅を制限します (フォアグラウンド転送はこのポリシー設定に影響されません)。

特定の時間間隔で使用する制限値と、それ以外の時間に使用する制限値を指定することができます。たとえば、午前 8 時から午後 5 時まではネットワーク帯域幅の使用を 10 Kbps に制限し、それ以外の時間は未使用で利用可能なすべての帯域幅を使用するように指定できます。

このポリシー設定を有効にすると、BITS によってバックグラウンド転送に使用されるネットワーク帯域幅の使用量が、ここで指定した値に制限されます。制限値は、キロビット/秒 (Kbps) で指定できます。2 キロビットより小さい値を指定した場合でも、BITS によって常に約 2 キロビットが使用されます。BITS 転送をしないようにするには、制限値 0 を指定してください。

このポリシー設定を無効にした場合、または構成しなかった場合は、BITS によって未使用で利用可能なすべての帯域幅が使用されます。

注: 制限値は、コンピューターのネットワーク インターフェイス カード

OK キャンセル 適用(A)

管理ツールと利用可能な技術のまとめ

	更新プログラムを延期できるか	更新プログラムを承認する機能	ピアツーピアオプション	追加機能
Windows Update	○ (手動)	なし	配信の最適化	なし
Windows Update for Business (グループポリシー / Intune)	○	なし	配信の最適化	その他のグループポリシーオブジェクト
WSUS	○	○	BranchCache 配信の最適化	複数サーバーを設置する事によるスケーラビリティの向上とグループ制御 (グループポリシーによる簡易的なリング制御)
SCCM	○	○	BranchCache クライアント ピアキャッシュ	配布ポイント、複数の展開オプション リング制御

Thank you



Windows 10へのアップグレード 関連技術情報集

株式会社 日本HP

サービス・ソリューション事業本部 技術本部 クライアント技術部

2017年8月28日



アジェンダ

- アップグレード前の確認事項
- Windows 10 Proへのアップグレード
- Windows 10の機能アップグレード方法
- HP Image Assistantを使用したアップグレード手順の簡略化

アップグレード前の確認事項

Windows 10互換性の確認

- HPは、2013年8月以降に発売されたほとんどのコンピューターにアップグレード手順、互換性のあるソフトウェア、および最新ドライバーを提供します。※
- 2013年8月以前にコンピューターをお買い上げの場合、HPはお使いのコンピューターモデルのドライバーのテストおよび開発を行っていません。一部の機能が動作しなかったり、インストールが正常に行われなかったりする可能性があります。
- 以下の手順でWindows 10動作検証済みPC製品一覧を確認します。
 1. 下記のURLにアクセスします。
<https://support.hp.com/jp-ja/document/c05201566>
 2. [このPCは、2013年8月以降に購入しました]の右の[+]をクリックして展開します。
 3. [ビジネス向けノートブック、デスクトップ、およびワークステーション]の[+]をクリックして展開します。

※Windows 10 Pro 32-bit用のドライバーは提供していません。

HPカスタマサポート情報より

<http://support.hp.com/jp-ja/document/c04752736>

アップグレード方法

Windows 10へのアップグレードにはクリーンインストールを推奨します

インプレースアップグレード

アプリケーションやユーザーデータを引き継いだままWindows 10にアップグレードする事が可能

インプレースアップグレードの問題点

- 同じbit数のWindows 10にしかアップグレードできないため、32-bit版のOSからアップグレードするとWindows 10 32-bitになってしまい、ドライバーの提供がサポートされません。

クリーンインストール

指定したbit数ディスクを再フォーマットして指定したbit数のWindows 10をインストール可能

クリーンインストールの注意点

- ディスクの再フォーマットが必要となるためアプリケーションやユーザーデータは保持されません。
- 必要なユーザーデータは事前に外部メディアやファイルサーバーに退避しておく必要があります。

BIOS設定とTPMバージョンの違い

OS	BIOS mode (セキュアブートの構成)	Disk Format	TPM
Windows 7 Pro(32/64bit)	Legacy Support Enable and Secure Boot Disable (レガシーサポートの有効化およびセキュアブートの無効化)	MBR	1.2
Windows 8.1 Pro (64bit)	Legacy Support Disable and Secure Boot Enable (レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの有効化)	GPT	1.2
Windows 10 Pro (64bit)	Legacy Support Disable and Secure Boot Enable (レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの有効化)	GPT	1.2/2.0

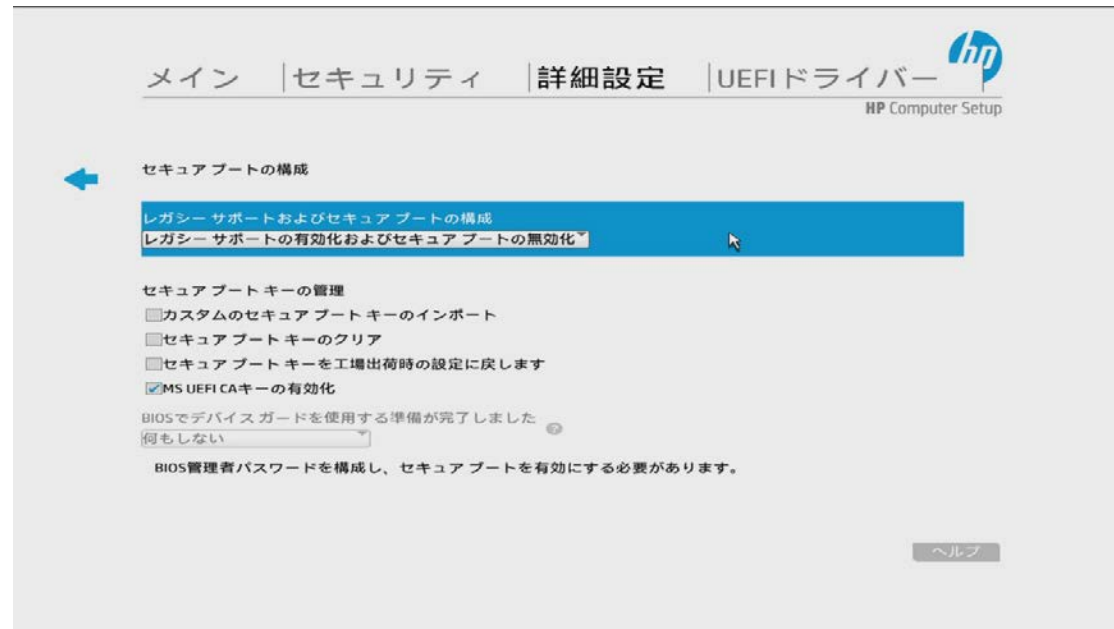
MBR = Mater Boot Record
これまで従来のパーティション方式
BIOS (レガシーサポート) との組み合わせで利用

GPT = GUID Partition Table
より大きなストレージに対応した規格
UEFI (レガシーサポート無効) との組み合わせで利用可
Secure Bootを利用するためにはこのディスクフォーマットにする必要がある
Noton Ghost等のイメージ展開ツールを使用していて、そのソフトウェアがMBR形式にのみ対応しているものであった場合、ソフトウェアの更新が必要になる場合があります。

Windows 7とWindows 10のBIOSの設定の違い

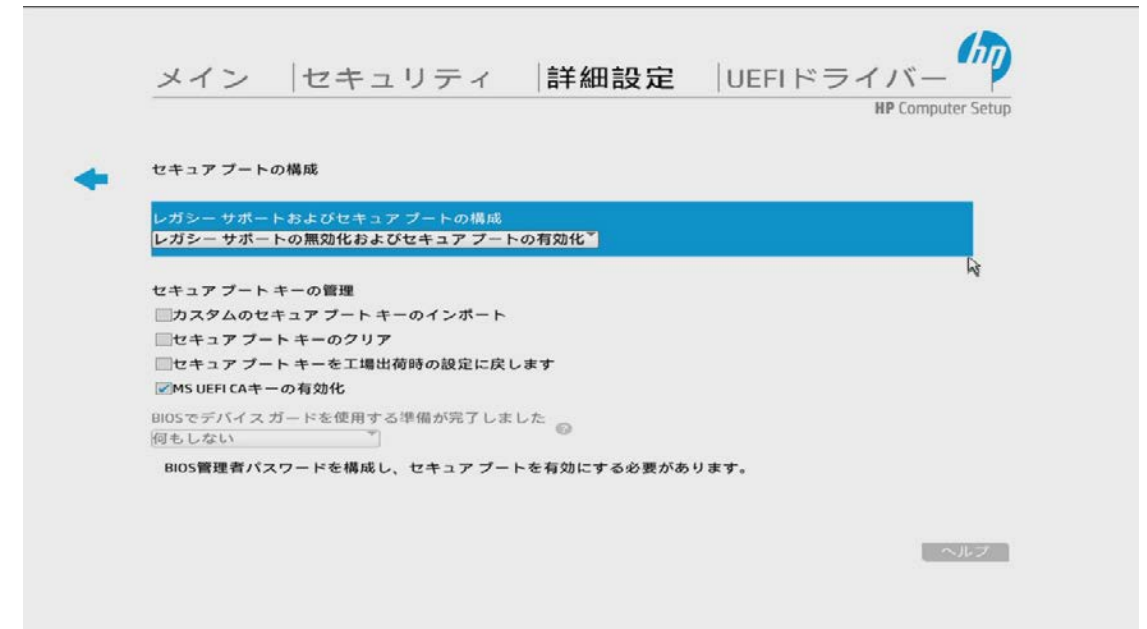
Windows 7

[詳細設定]→[セキュアブートの構成]→[レガシーサポートおよびセキュアブートの構成]



Windows 10

[詳細設定]→[セキュアブートの構成]→[レガシーサポートおよびセキュアブートの構成]



Windows 10 Proへのアップグレード

Windows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

※Windows 10 Proへのアップグレードを実施する前にユーザーデータのバックアップを実施し、アップグレードの完了後にバックアップしたユーザーデータを復元してください。

Windows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

※Windows 10 Pro へのアップグレードを実施する前にユーザーデータのバックアップを実施し、アップグレードの完了後にバックアップしたユーザーデータを復元してください。

1. BIOSを最新バージョンにアップグレード

1. Webブラウザを起動してhp.comにアクセスします。
2. [サポート]→[ドライバーのダウンロード]をクリックします。



3. 検索ボタンの左側のテキストボックスに製品名または製品名の一部を入力します。
4. テキストボックスの下に表示された製品名の候補または検索ボタンをクリックします。

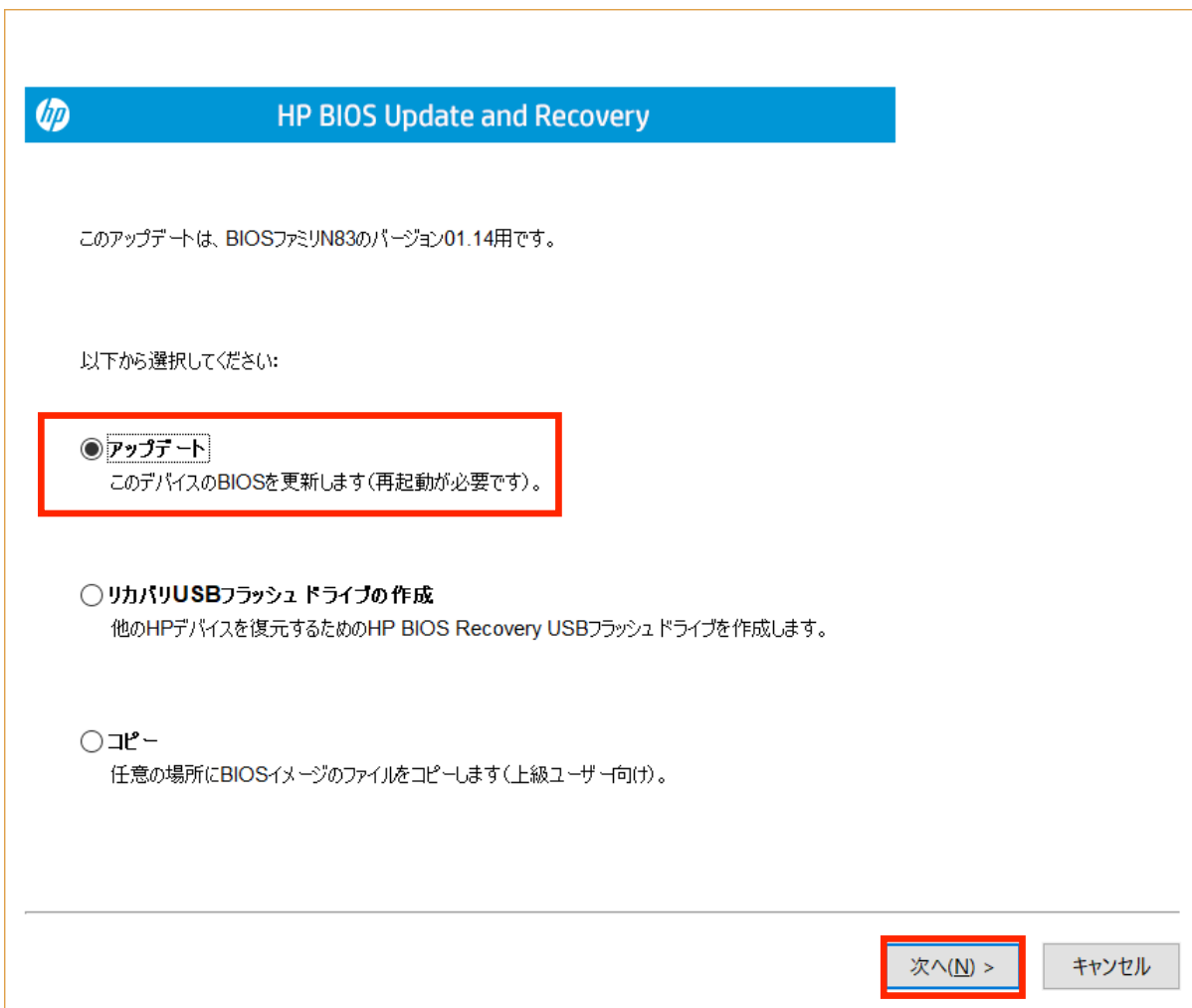


1. BIOSを最新バージョンにアップグレード

6. 対象の機種ソフトウェアおよびドライバーのダウンロードサイトが表示されますので、[BIOS]をクリックして展開します。
7. [HPXXXXBIOSアップデート]の右側のダウンロードボタンをクリックして、[spXXXXX.exe]を保存します。
8. ダウンロードした [spXXXXX.exe]をダブルクリックして実行します。
9. [HP XXXX BIOS Update – InstallShield Wizard]が起動したら[Next]をクリックします。
10. [License Agreement]画面で、[I accept the term in the license agreement]をクリックして選択し、[Next]をクリックします。
11. [Location to Save Files]画面で、保存先のフォルダを確認して[Next]をクリックします。
12. [HP BIOS Update and Recovery]が起動したら[アップデート]を選択して[次へ]をクリックします。

1. BIOSを最新バージョンにアップグレード

13. [次へ]をクリックします。



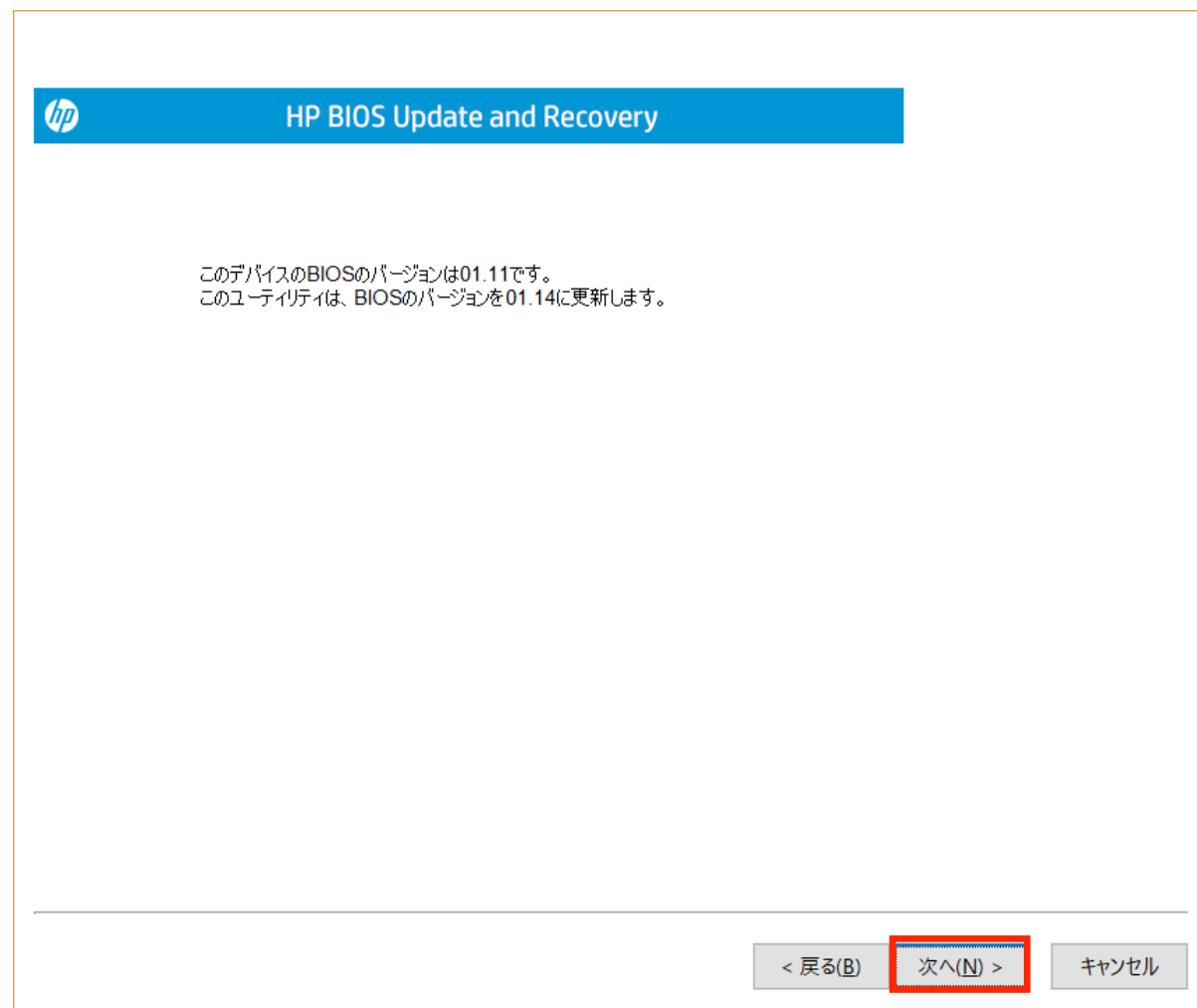
HP BIOS Update and Recovery

このアップデートは、BIOSファミリN83のバージョン01.14用です。

以下から選択してください:

- アップデート**
このデバイスのBIOSを更新します(再起動が必要です)。
- リカバリUSBフラッシュドライブの作成**
他のHPデバイスを復元するためのHP BIOS Recovery USBフラッシュドライブを作成します。
- コピー**
任意の場所にBIOSイメージのファイルをコピーします(上級ユーザー向け)。

次へ(N) > キャンセル



HP BIOS Update and Recovery

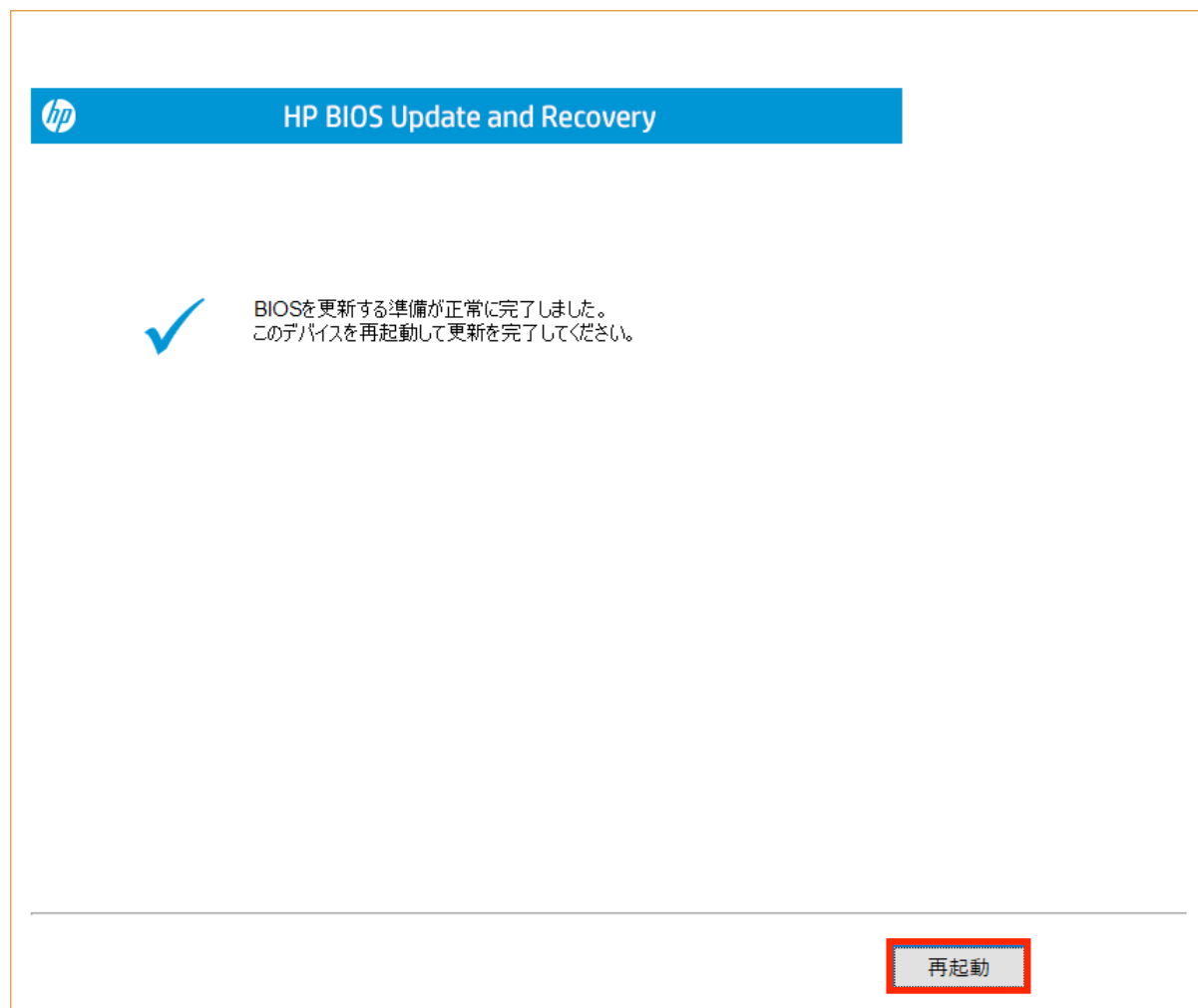
このデバイスのBIOSのバージョンは01.11です。
このユーティリティは、BIOSのバージョンを01.14に更新します。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

1.BIOSを最新バージョンにアップグレード

14. [再起動]をクリックします。

- システムによってはBIOSのアップグレードが完了するまでに何度か再起動が発生する場合があります。



Windows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

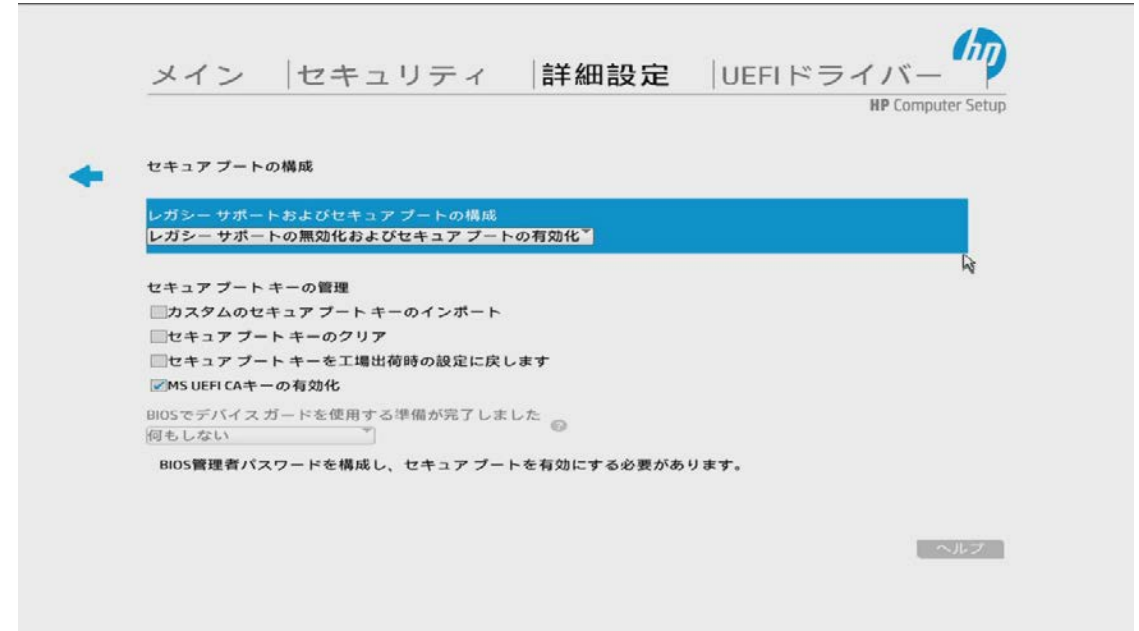
4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

※Windows 10 Pro へのアップグレードを実施する前にユーザーデータのバックアップを実施し、アップグレードの完了後にバックアップしたユーザーデータを復元してください。

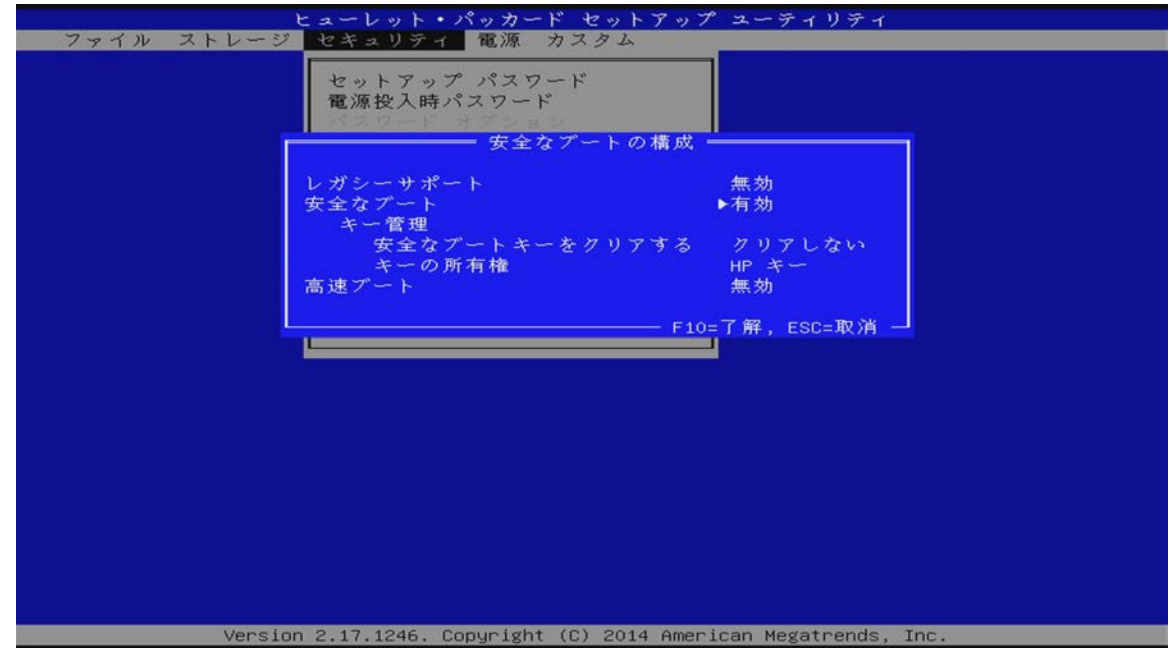
2. BIOS設定をWindows 10用に変更（2015年以降のモデル）

1. コンピュータの電源を投入し、hpロゴが表示されたら直ちに[f10]キーを繰り返し押し押ししてBIOS設定画面に入ります。
2. [Advanced（詳細設定）]→[Secure Boot Configuration（セキュアブートの構成）]を選択します。
3. Configure Legacy Support and Secure Boot（レガシーブートおよびセキュアブートの構成）の設定を [Legacy Support Disable and Secure Boot Enable（レガシーサポートの無効化およびセキュアブートの有効化）]に変更します。
4. [F10]キーを押し、Save Changes and Exit? 画面で [Yes]をクリックします。



2. BIOS設定をWindows 10用に変更 (2014年モデル)

1. コンピュータの電源を投入し、hpロゴが表示されたら直ちに[f10]キーを繰り返し押し続けてBIOS設定画面に入ります。
2. [Security (セキュリティ)] → [Secure Boot Configuration (安全なブートの構成)] を選択します。
3. 安全なブートの構成の続行を確認するメッセージで[F10]キーを押して続行します。
4. Legacy Support (レガシーサポート) の設定を [Disabled (無効)] に変更します。
5. Secure Boot (セキュアブート) の設定を [Enabled (有効)] に変更します。
6. [F10]キーを押し、[Save Changes and Exit (変更を保存して終了)] を選択します。



Windows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

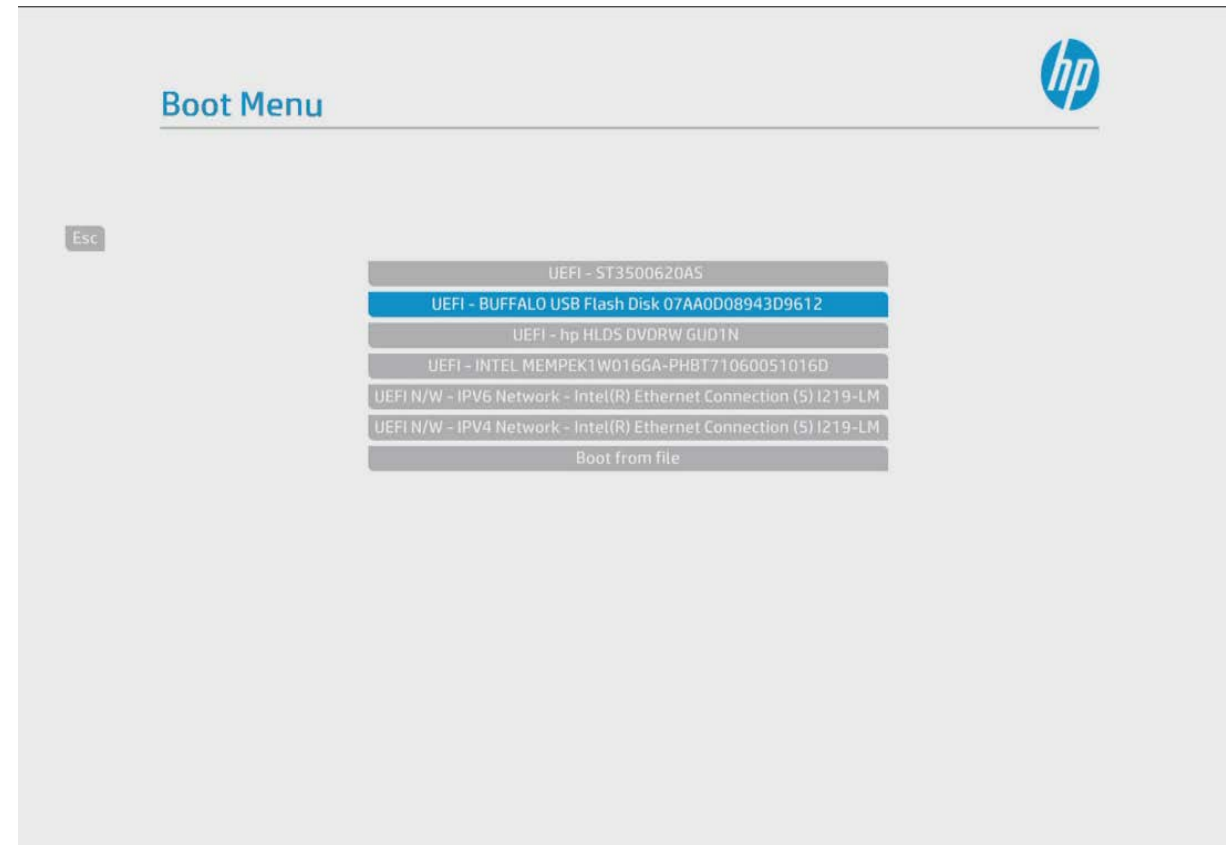
4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

※Windows 10 Pro へのアップグレードを実施する前にユーザーデータのバックアップを実施し、アップグレードの完了後にバックアップしたユーザーデータを復元してください。

3.Windows 10のインストール

1. Windows 10リカバリメディアをセットします。
 - a. Windows 10リカバリDVDメディアを使用する場合
コンピュータのDVDドライブにWindows 10リカバリDVDメディア（Operationg System DVD Windows 10 Pro）をセットしてコンピュータをシャットダウンします。
 - b. Windows 10リカバリUSBドライブを使用する場合
コンピュータをシャットダウンして、USBポートにWindows 10リカバリUSBドライブを接続します。
2. コンピュータの電源を投入しhpロゴが表示されたら直ちに[f9]キーを繰り返し押します。
3. ブートオプションを選択します。
 - a. Windows 10リカバリDVDメディアを使用する場合
Boot Menu画面で、[UEFI - hp HLDS DVDROM DUDON]を選択します。画面左上に[Press any key to boot from CD or DVD]と表示されたら任意のキーを押します。
 - b. Windows 10リカバリUSBドライブを使用する場合
Boot Menu画面で、[[UEFI-USBドライブ名]を選択します。



3.Windows 10のインストール

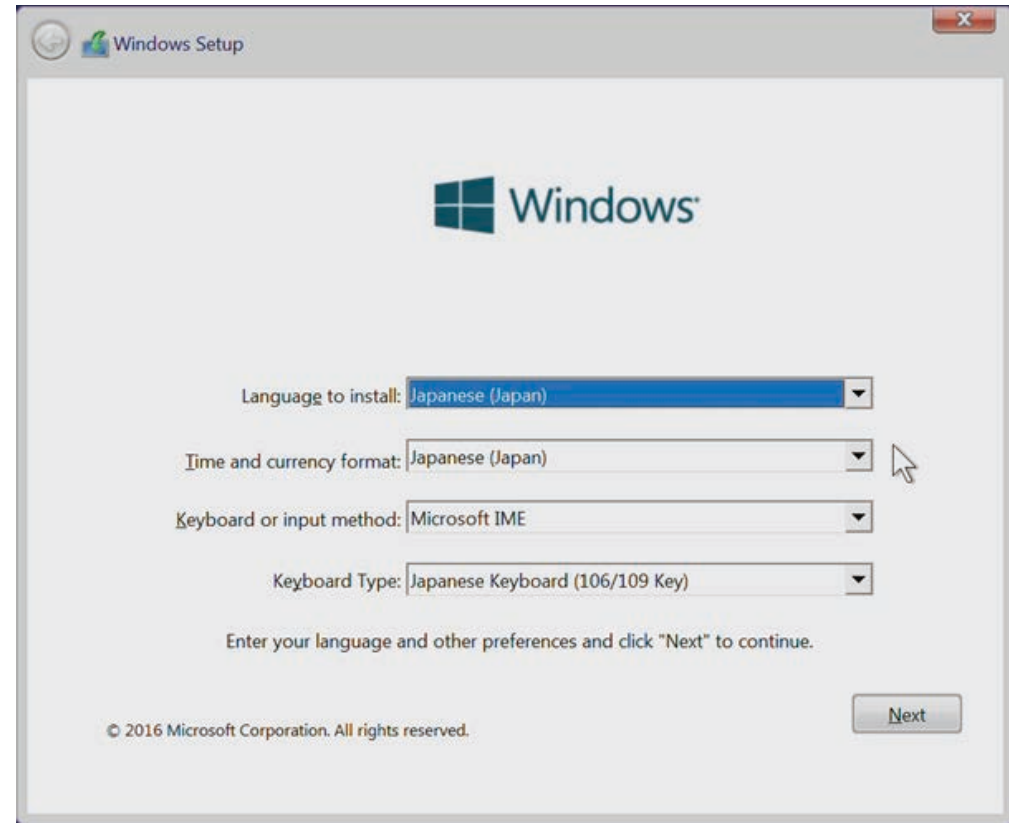
4. Windows 10のインストーラが起動したら以下の日本語の言語設定になっている事を確認し、[Next]をクリックします。

Language to install : Japanese (Japan)

Time and currency format : Japanese (Japan)

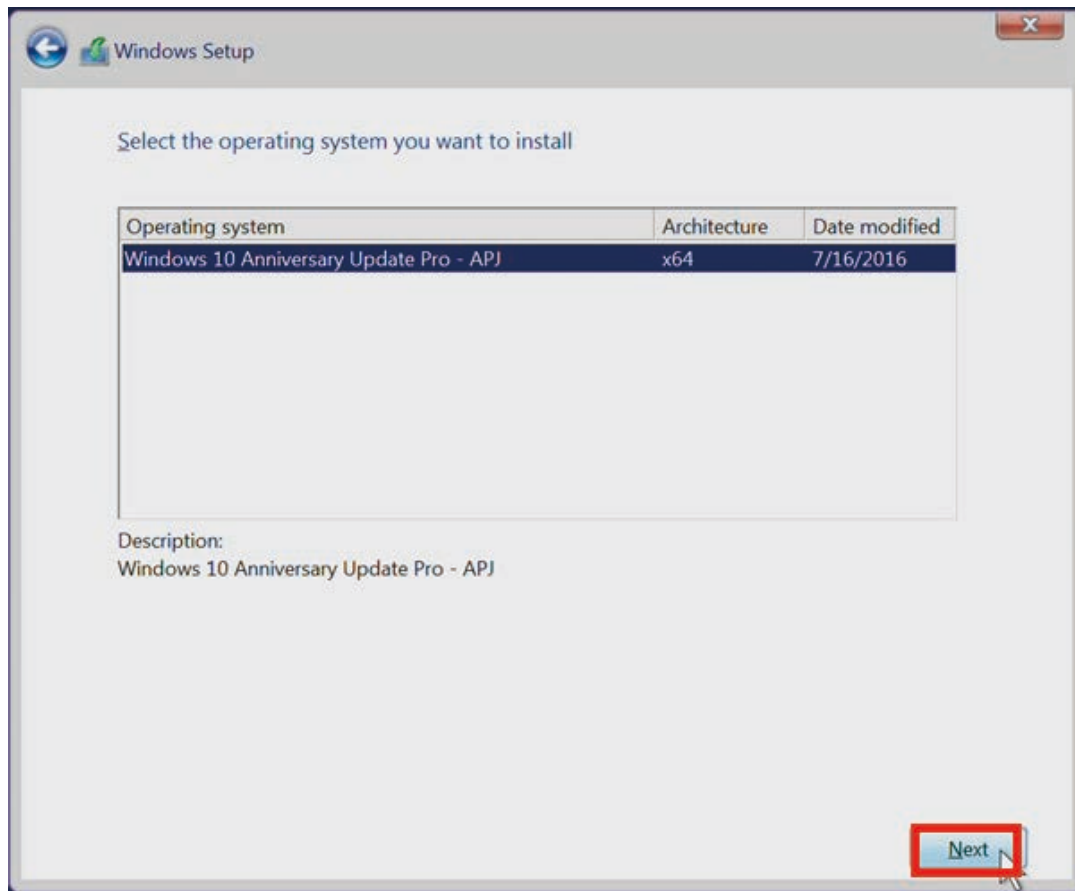
Keyboard or input method : Microsoft IME

Keyboard Type : Japanese Keyboard (106/109 Key)

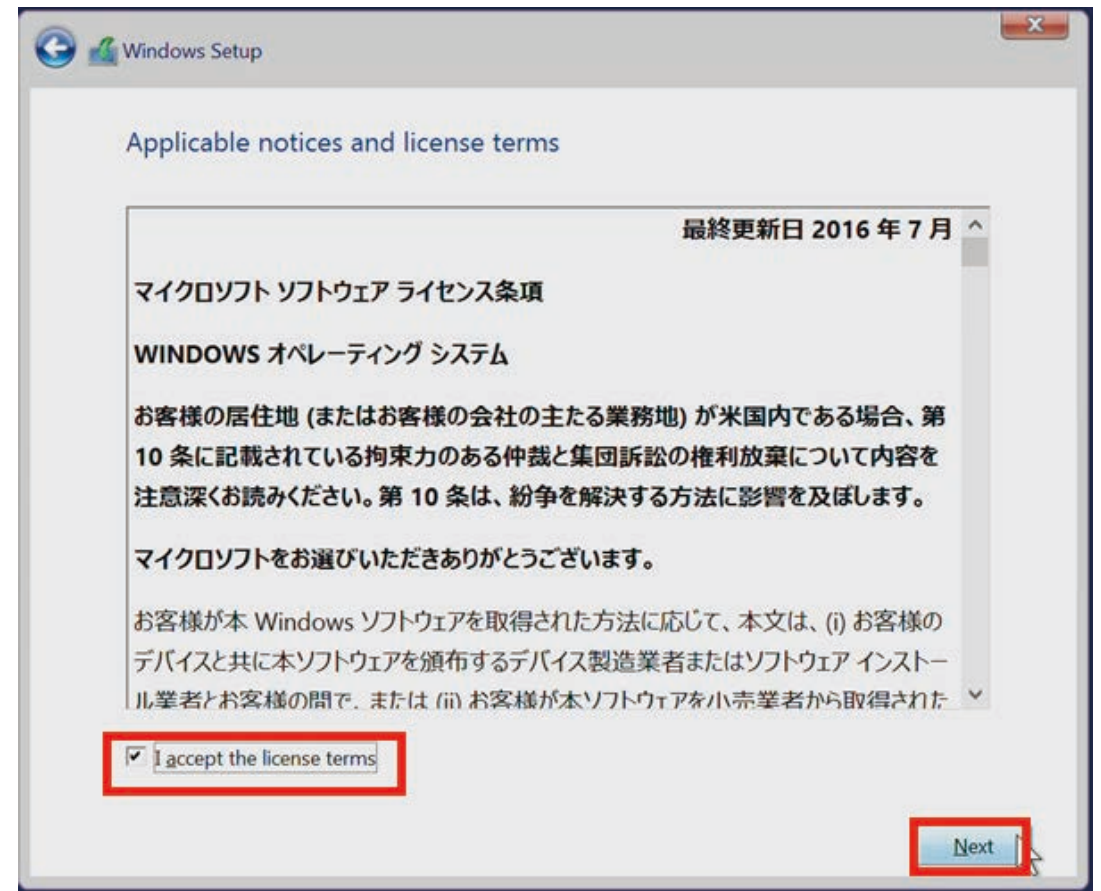


3.Windows 10のインストール

5. そのまま[Next]をクリックします。



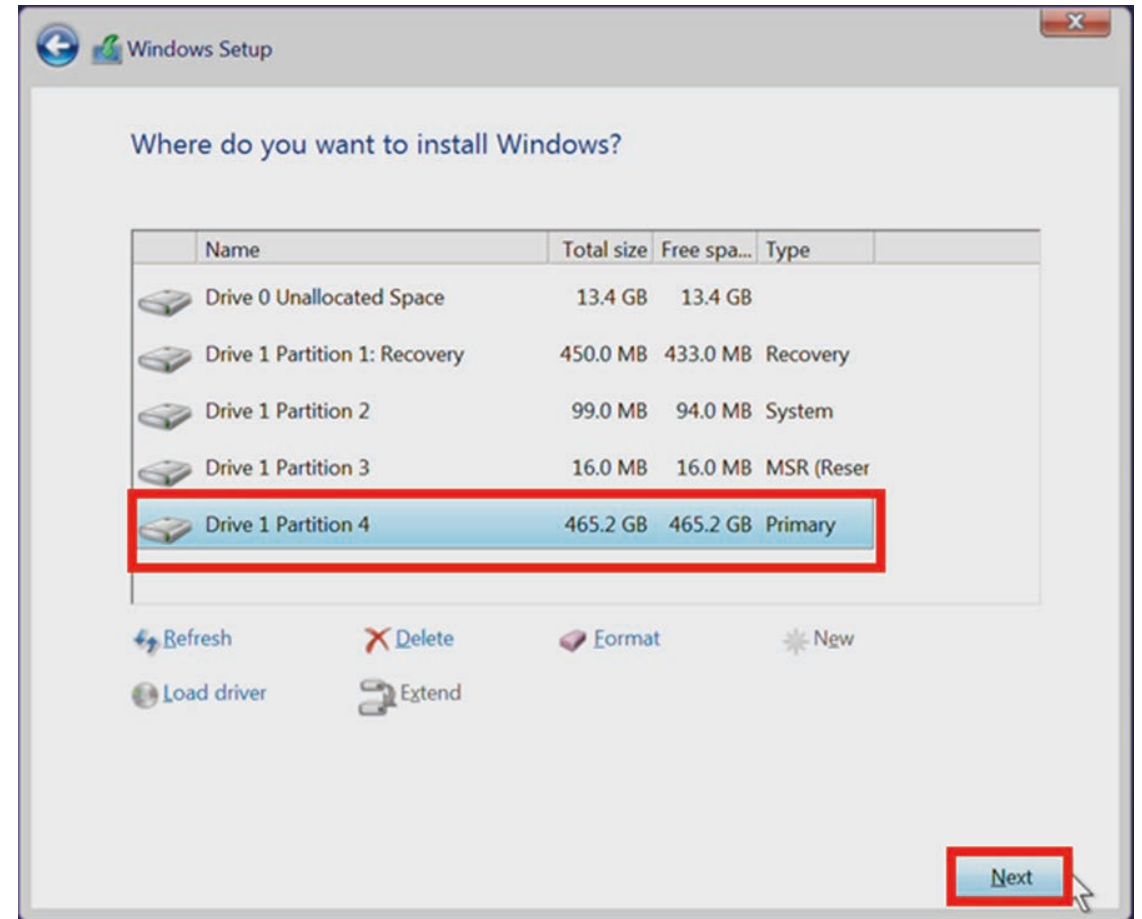
6. マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項で [I accept the license terms]のチェックボックスをオンにして[Next]をクリックします。



3.Windows 10のインストール

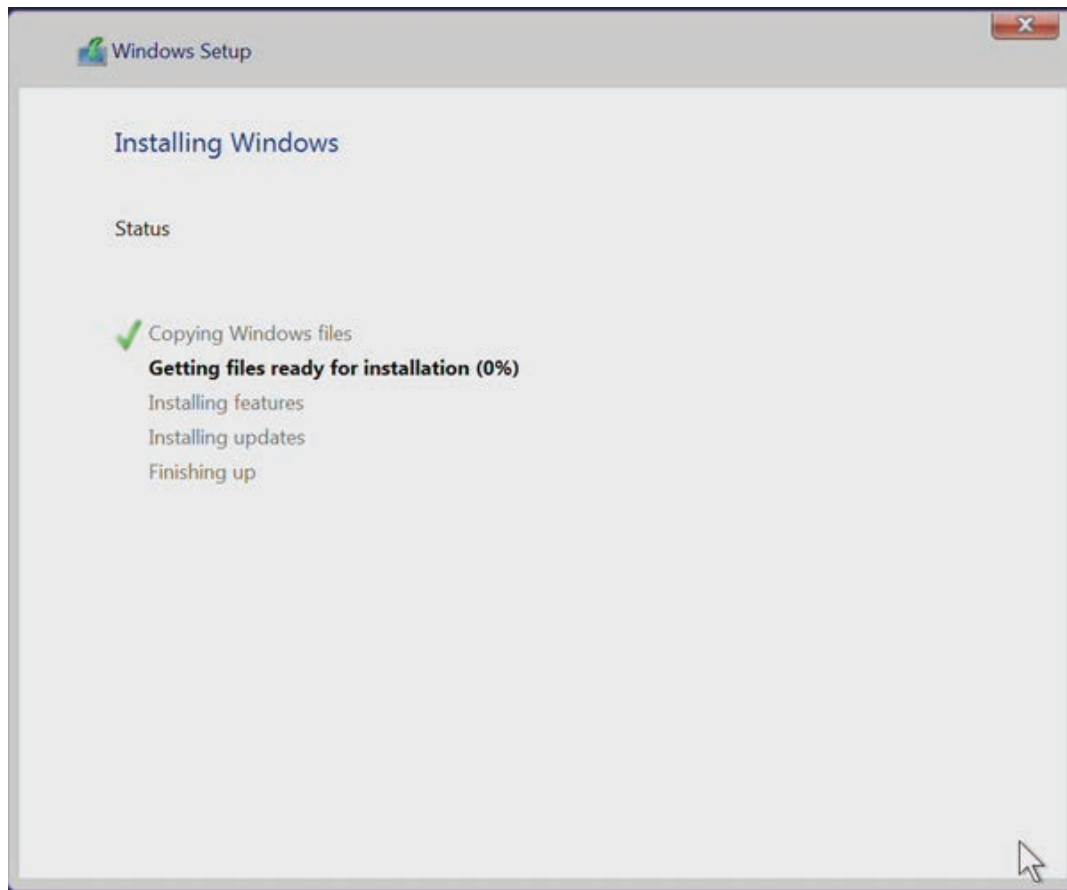
- Windowsのインストール場所の選択画面では、既存のディスクパーティションがある場合には全て削除します。Windowsをインストールするドライブ（シングルドライブ構成の場合はDrive 0 Unallocated Space）を選択して[New]をクリックします。
- サイズはそのままの状態です。[Apply]をクリックします。
- 確認のダイアログで[OK]をクリックします。
- 新規にパーティションを作成した後、[Drive X Partition 4]が選択されていることを確認して[Next]をクリックします。（シングルドライブ構成の場合はDrive 0です）

※右の図ではストレージを追加しているためDrive 1 Partition 4となっています

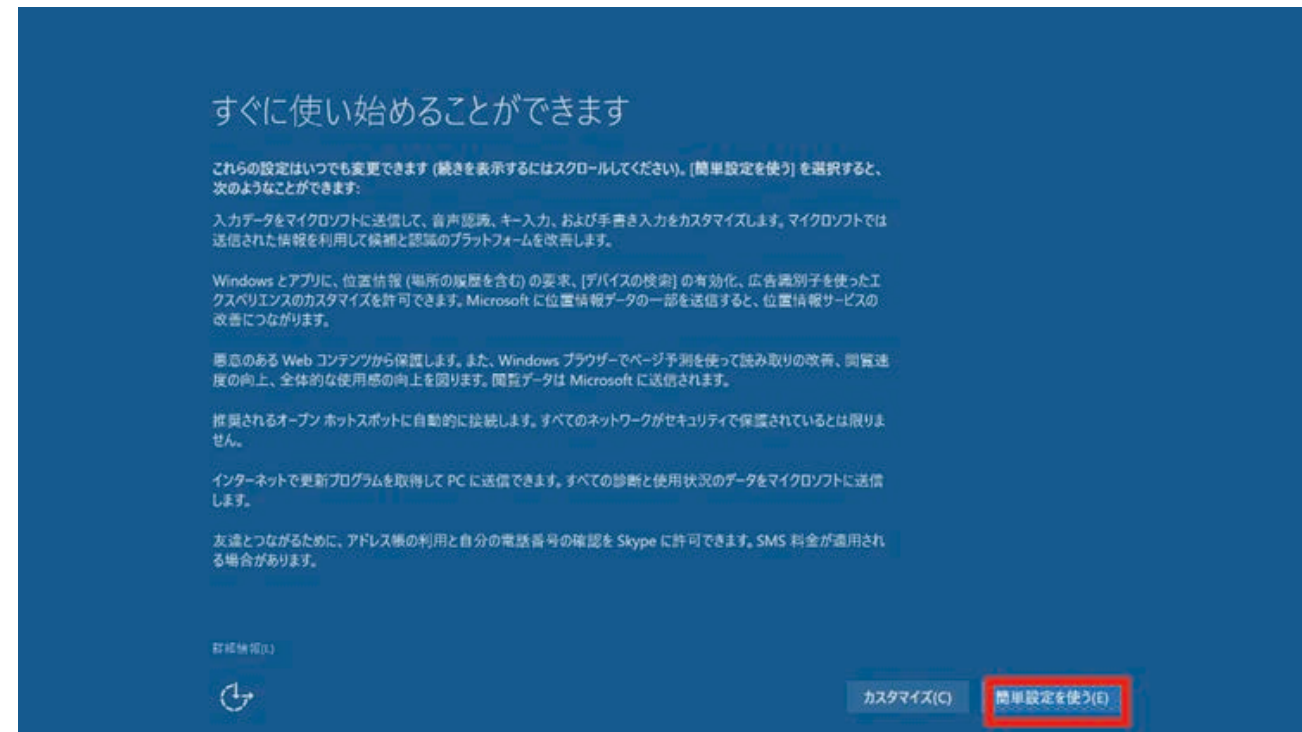


3.Windows 10のインストール

11. Windows 10のインストールが開始されます。インストール中にコンピュータは数回再起動されます。



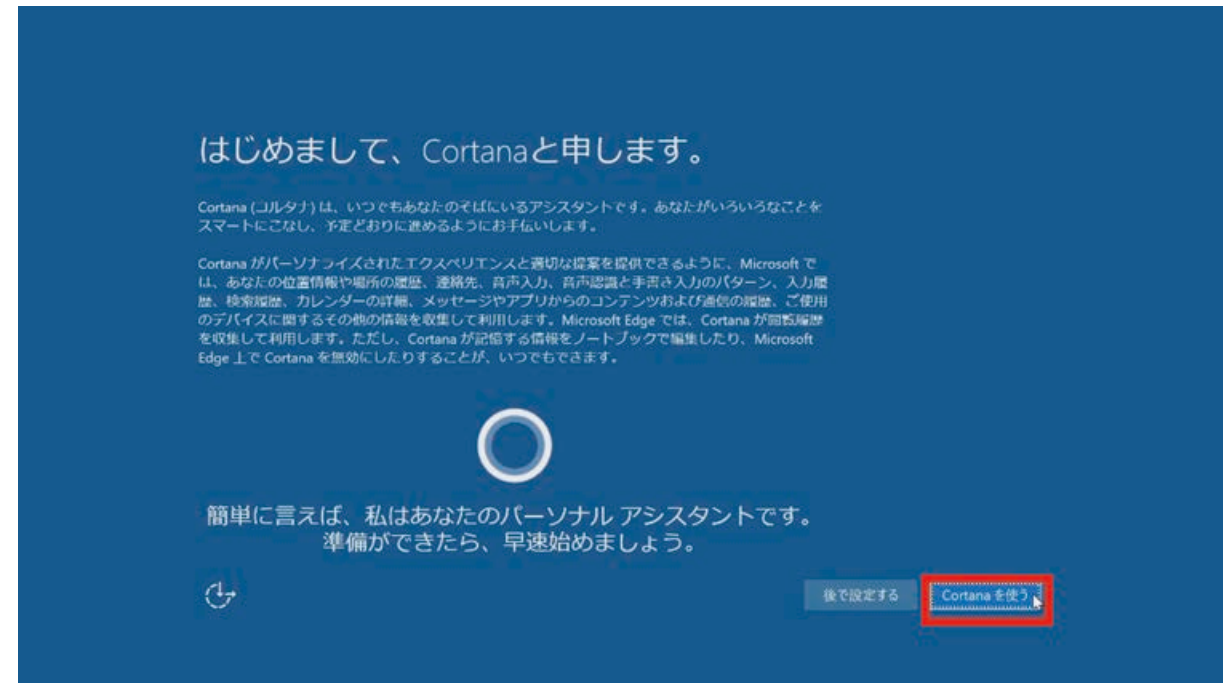
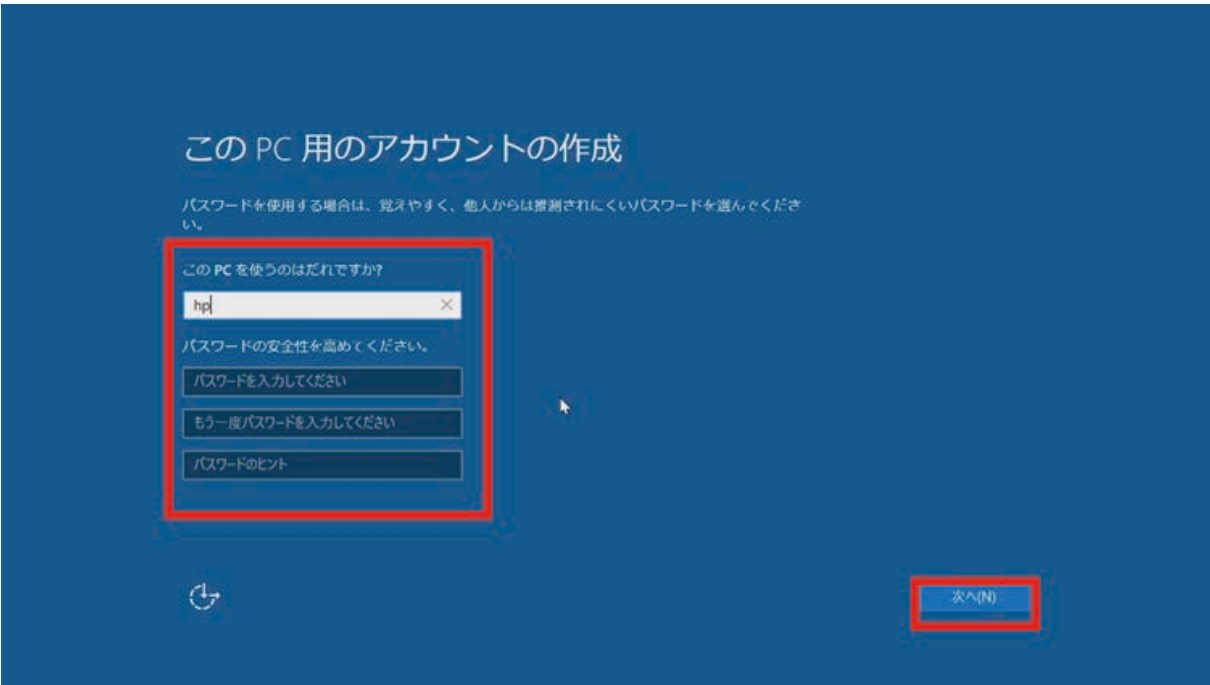
12. すぐに使い始めることができます画面で[簡易設定を使う]をクリックします。。



3.Windows 10のインストール

13. このPC用のアカウントの作成画で[ユーザー名]、[パスワード]、[パスワードのヒント]を入力し、[次へ]をクリックします。

14. Cortanaの設定画面で[Cortanaを使う]をクリックします。



3.Windows 10のインストール

15. デスクトップ画面が表示されたらWindows 10のインストールは完了です。リカバリDVDを使用している場合はDVDドライブからOperationg System DVD Windows 10 Proを取り出します。

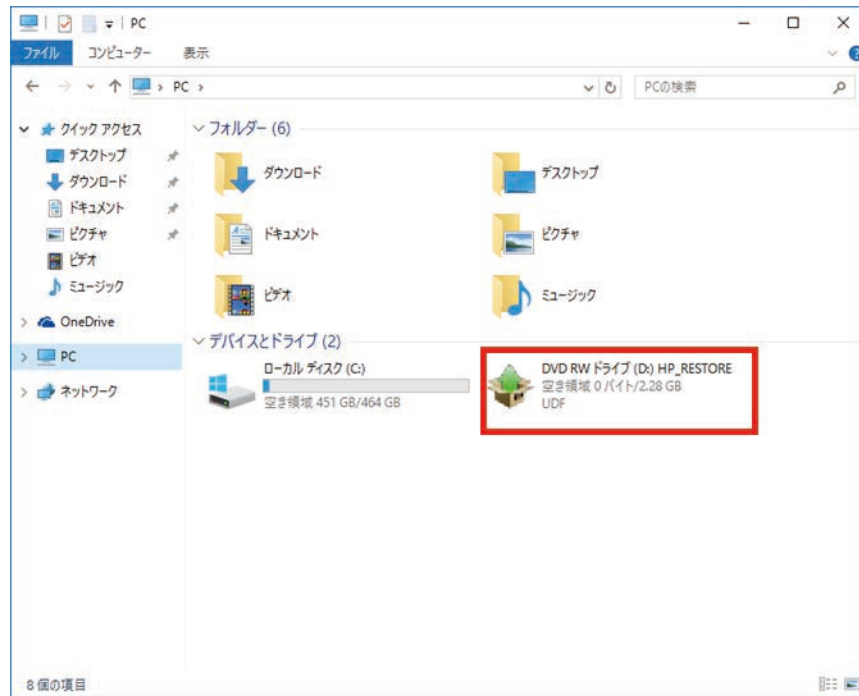


3.Windows 10のインストール

16. HP Software Setupユーティリティを起動します。

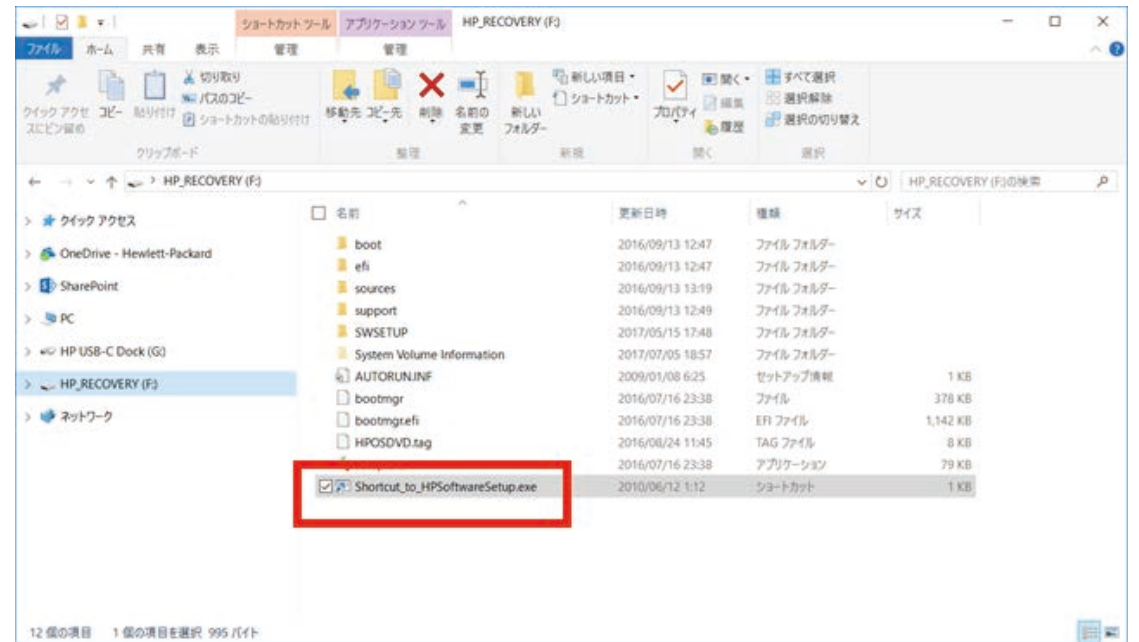
a. リカバリDVDを使用する場合

Driver Recovery DVDをDVDドライブにセットし、[DVDドライブ(D:):HP_RESTORE]をダブルクリックします。



b. リカバリUSBドライブを使用する場合

USBドライブ内の[Shortcut_to_HPSoftwareSetup.exe]をダブルクリックして実行します。



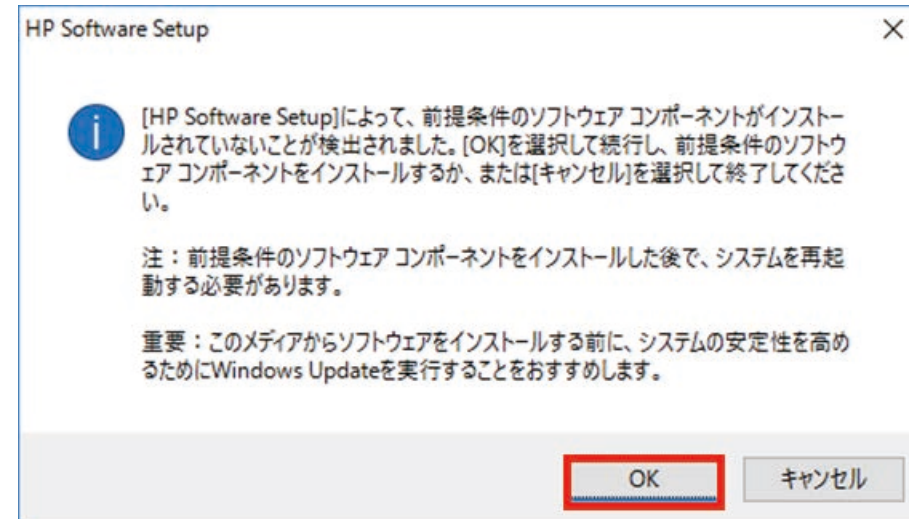
17. ユーザーアカウント制御のダイアログボックスで [はい]をクリックします。

3.Windows 10のインストール

18. HP Software Setupユーティリティへようこそ画面で[ハードウェア有効化ドライバ]をクリックします。

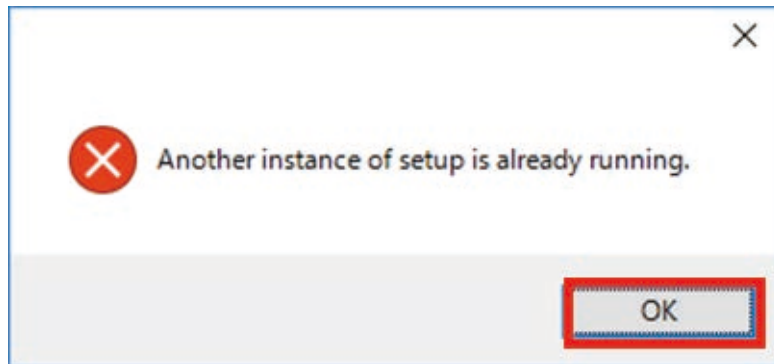


19. 前提条件のソフトウェア コンポーネントのインストールが必要なことを通知するダイアログで、[OK]をクリックします。

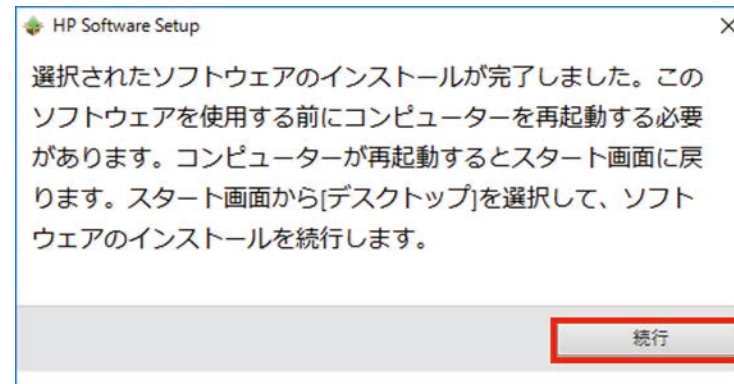


3.Windows 10のインストール

20. Another instance of setup is already runningのダイアログボックスが表示された場合は[OK]をクリックします。



21. ソフトウェアのインストールが完了したら[続行]をクリックします。システムは自動的に再起動します。



3.Windows 10のインストール

22. システムの再起動後ユーザーアカウントでログインします。[HP Software Setup]が自動起動したら[ハードウェア有効化ドライバー]をクリックします。

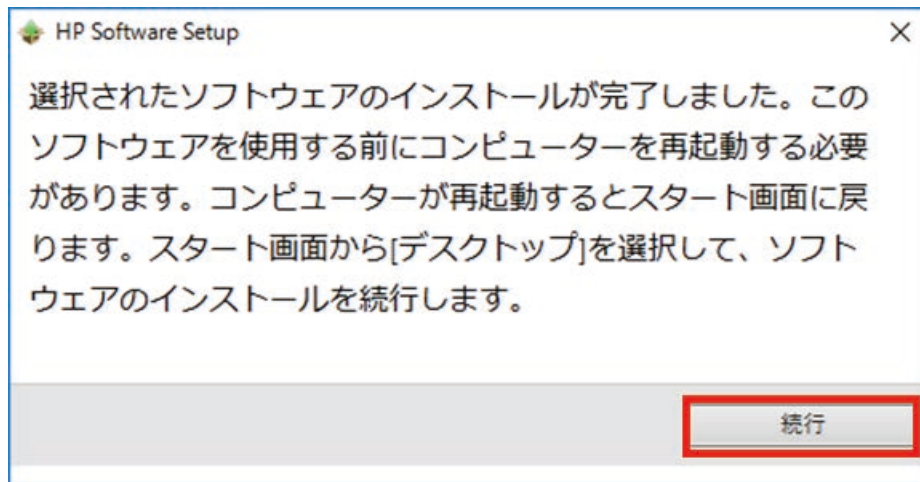


23. ソフトウェアの選択画面で、[すべて選択]をクリックしてすべてのチェックボックスを有効にして[インストール]をクリックします。



3.Windows 10のインストール

24. ソフトウェアのインストールが完了したら[続行]をクリックします。システムは自動的に再起動します。



25. システムの再起動後ユーザーアカウントでログインします。[HP Software Setup]が自動起動したら[推奨ソフトウェア アプリケーション]をクリックします。

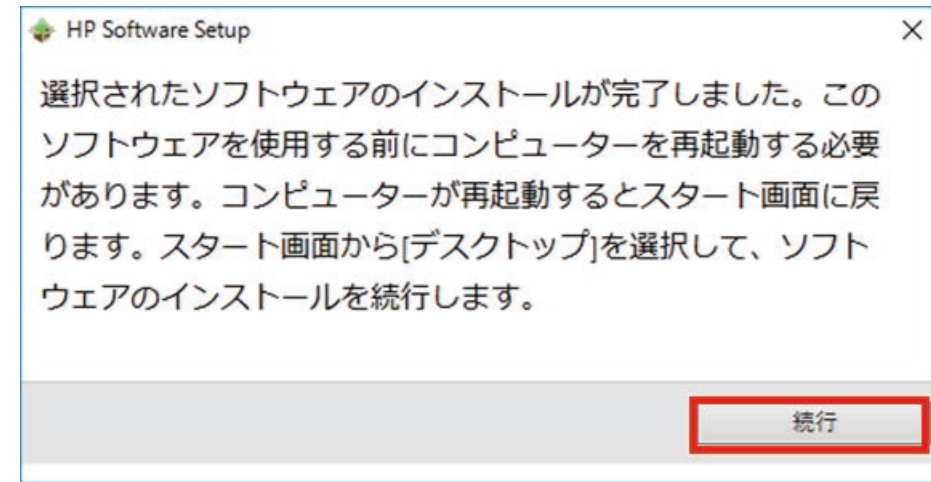


3.Windows 10のインストール

26. インストールしたいソフトウェア アプリケーション以外のチェックボックスをオフにして、[インストール]をクリックします。



27. ソフトウェアのインストールが完了したら[続行]をクリックします。システムは自動的に再起動します。



28. リカバリ用DVDメディアまたはリカバリ用USBドライブを取り外します。

Windows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

※Windows 10 Pro へのアップグレードを実施する前にユーザーデータのバックアップを実施し、アップグレードの完了後にバックアップしたユーザーデータを復元してください。

4.TPMのバージョンアップグレード

1. 以下の対象モデルに応じたHP TPMコンフィギュレーションユーティリティをダウンロードします。

<ftp://ftp.hp.com/pub/softpaq/sp78501-79000/sp78910.exe>

Notebook/Mobile WS Platforms

HP ProBook 430 G3	HP EliteBook 850/840 G3	HP ProBook 440 G4	HP ZBook 14u G4
HP ProBook 440 G3	HP Elite x2 1012 G1	HP ProBook 450 G4	HP ZBook 15 G4
HP ProBook 450 G3	HP EliteBook Folio 1030 G1	HP ProBook 455 G4	HP ZBook 15u G4
HP ProBook 455 G3	HP EliteBook Folio 1040 G3	HP ProBook 470 G4	HP ZBook 17 G4
HP ProBook 470 G3	HP EliteBook Folio G1	HP ProBook 640 G3	
HP ProBook 650/640 G2	HP ZBook 15 G3	HP ProBook 645 G3	
HP ProBook 645/655 G2	HP ZBook 15u G3	HP ProBook 650 G3	
HP EliteBook 725 G3	HP ZBook 17 G3	HP ProBook 655 G3	
HP EliteBook 755/745 G3	HP ZBook Studio G3	HP Pro x2 1012 G2 Tablet	
HP EliteBook 820 G3	HP ProBook 430 G4	HP ZBook Studio G4	

※日本では通常販売していないモデル名も含まれます。

4.TPMのバージョンアップグレード

Desktop Platforms			
HP ProDesk 400 G2 DM	HP EliteDesk 705 G2 DM	HP ProOne 600 G3 AiO	HP EliteDesk 800 G3 DM
HP ProOne 400 G2 AiO	HP EliteDesk 800 G2 TWR	HP ProDesk 600 G3 MT	HP Elie Slice
HP ProDesk 400 G3 MT	HP EliteDesk 800 G2 SFF	HP ProDesk 600 G3 SFF	
HP ProDesk 400 G3 SFF	HP EliteDesk 800 G2 DM	HP ProDesk 600 G3 DM	
HP ProDesk 480 G3 MT	HP EliteOne 800 G2 AiO	HP ProDesk 680 G3 MT	
HP ProDesk 490/498 G3	HP RP9 G1 Retail System	HP EliteDesk 705 G3 SFF/ MT	
HP ProDesk 600 G2 SFF	HP ProOne 400 G3 AiO	HP EliteDesk 705 G3 DM	
HP ProDesk 600 G2 DM	HP ProDesk 400 G3 DM	HP EliteOne 800 G3 AiO	
HP ProOne 600 G2 AiO	HP ProDesk 400 G4 MT	HP EliteDesk 800 G3 TWR	
HP EliteDesk 705 G2 SFF/ MT	HP ProDesk 400 G4 SFF	HP EliteDesk 800 G3 SFF	

※日本では通常販売していないモデル名も含まれます。

4.TPMのバージョンアップグレード

- ダウンロードしたsp78910.exeを管理者権限のあるユーザーで実行し、ウィザードに従って進めます。C:\SWSETUP\SP78910フォルダに、以下のファイルが展開されます。

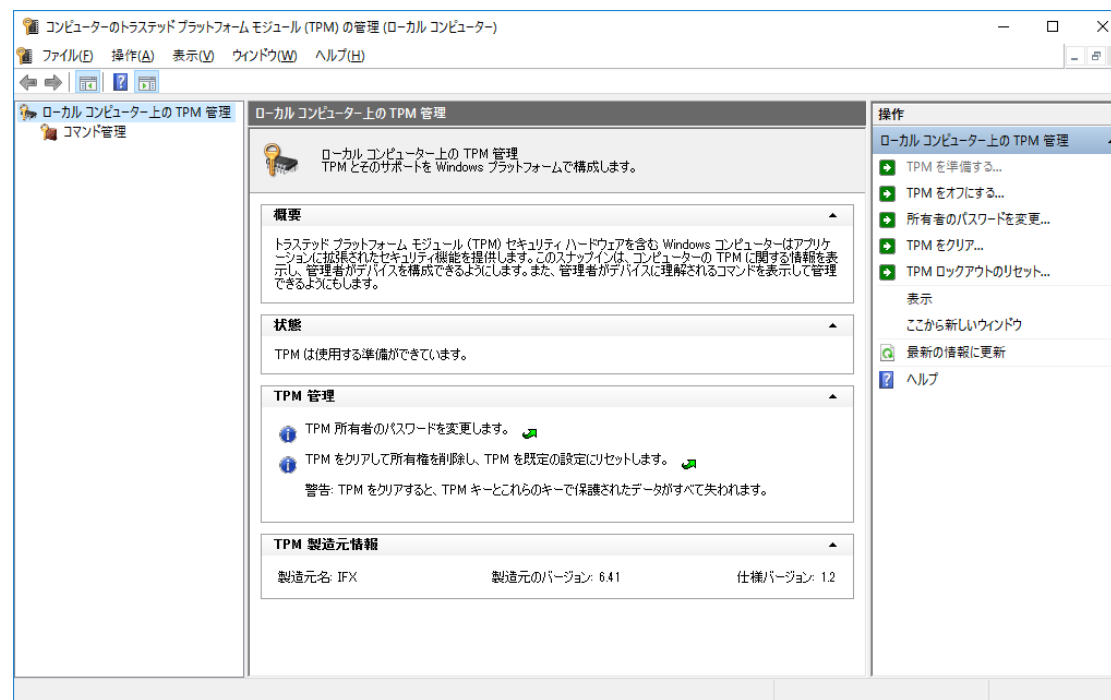
TPMConfig.exe : 32bitOS用ユーティリティ実行ファイル

TPMConfig64.exe : 64bitOS用ユーティリティ実行ファイル

SP78910.pdf : ユーティリティ説明ファイル(英語)

Firmware\TPMXX_XXXXXXXXXX_to_TPMXX_XXXXXXXXXX.BIN (合計7ファイル) : ユーティリティ専用 TPM 変更FW BIN ファイル

- 現在のTPMのバージョンを確認します。ColtanaまたはWindowsの検索に[tpm.msc]と入力し、TPMの管理を起動します。
- [製造元のバージョン]と[仕様バージョン]を確認します



4.TPMのバージョンアップグレード

5. 確認した[製造元のバージョン]と[仕様バージョン]を基に、使用するTPM変更用FW BINファイルを選択します。

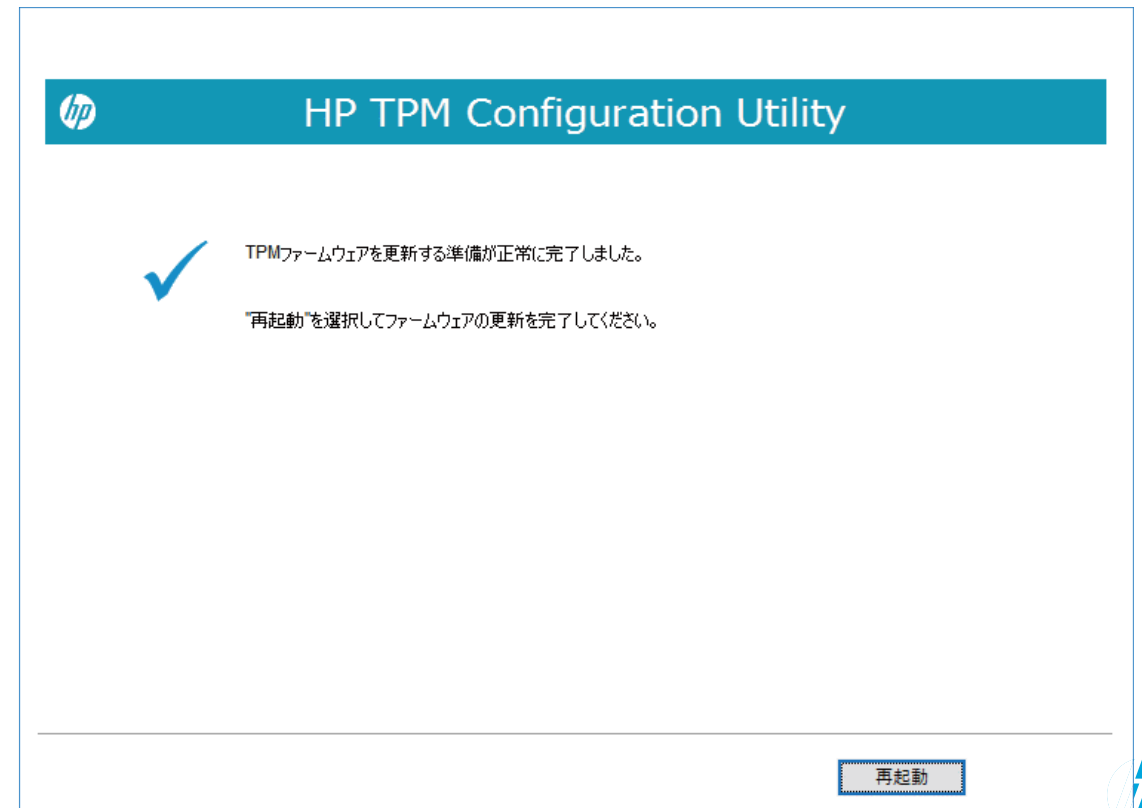
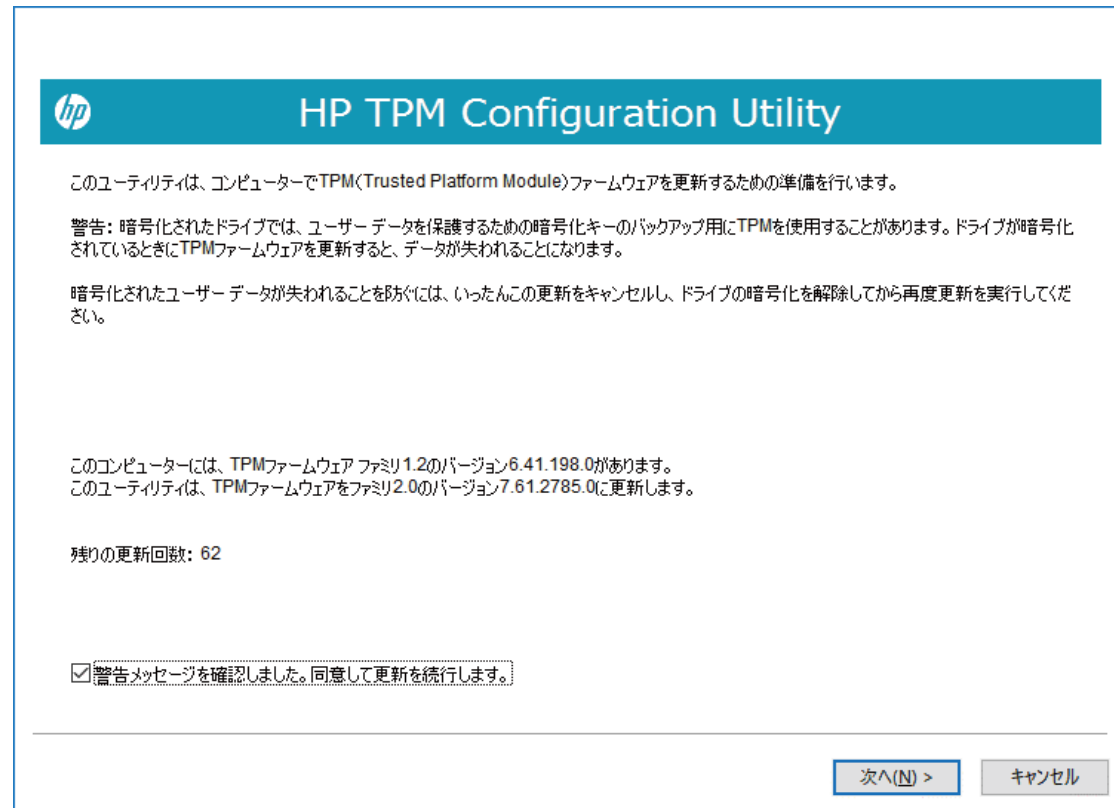
※仕様バージョンが2.0の場合はすでにバージョン2.0になっていますのでTPMのバージョンアップグレードは不要です。

6. TPMConfig64.exeと使用するFW BINファイルを同一の任意フォルダにコピーします。

製造元のバージョン	仕様バージョン	使用するBINファイル
6.40	1.2	TPM12_6.40.190.0_to_TPM20_7.61.2785.0.BIN
6.41	1.2	TPM12_6.41.197.0_to_TPM20_7.61.2785.0.BIN または TPM12_6.41.198.0_to_TPM20_7.61.2785.0.BIN ※一度このTPMコンフィギュレーションユーティリティを使用してバージョン2.0からバージョン1.2にバージョンダウングレードしている場合にはこちらを使用します。

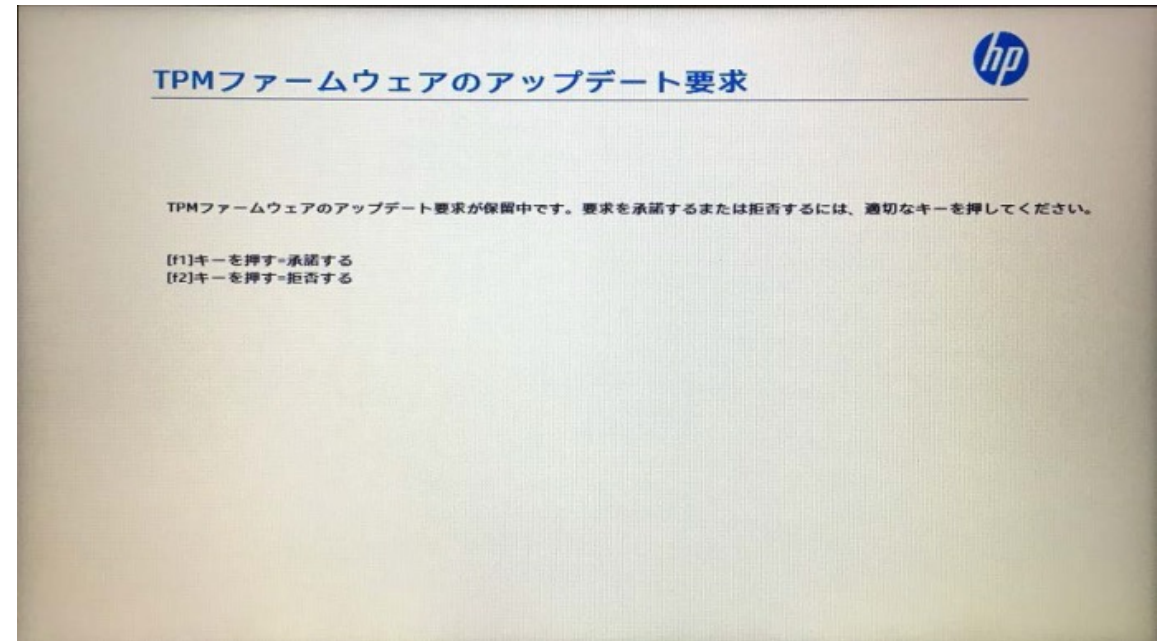
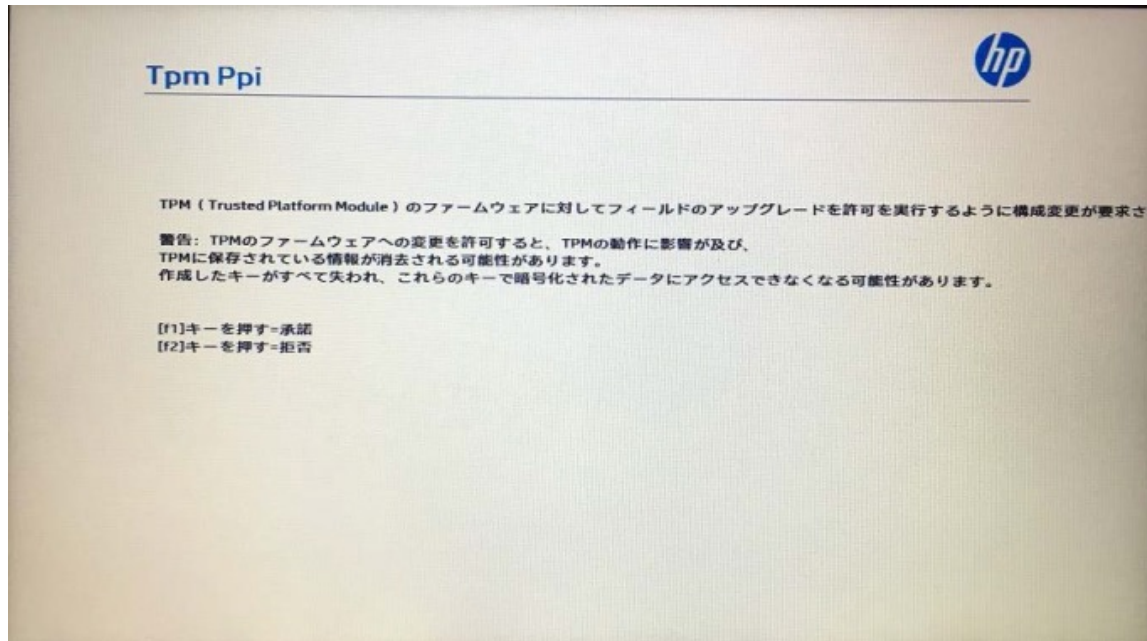
4. TPMのバージョンアップグレード

7. ファイルエクスプローラにてファイルをコピーしたフォルダを表示して、TPMConfig64.exe を実行します。TPM に対して変更される内容を確認して、同意にチェックを入れて、[次へ(N)]を押します。
8. TPMの更新準備が完了した画面になります。[再起動]を押して、端末を再起動します。



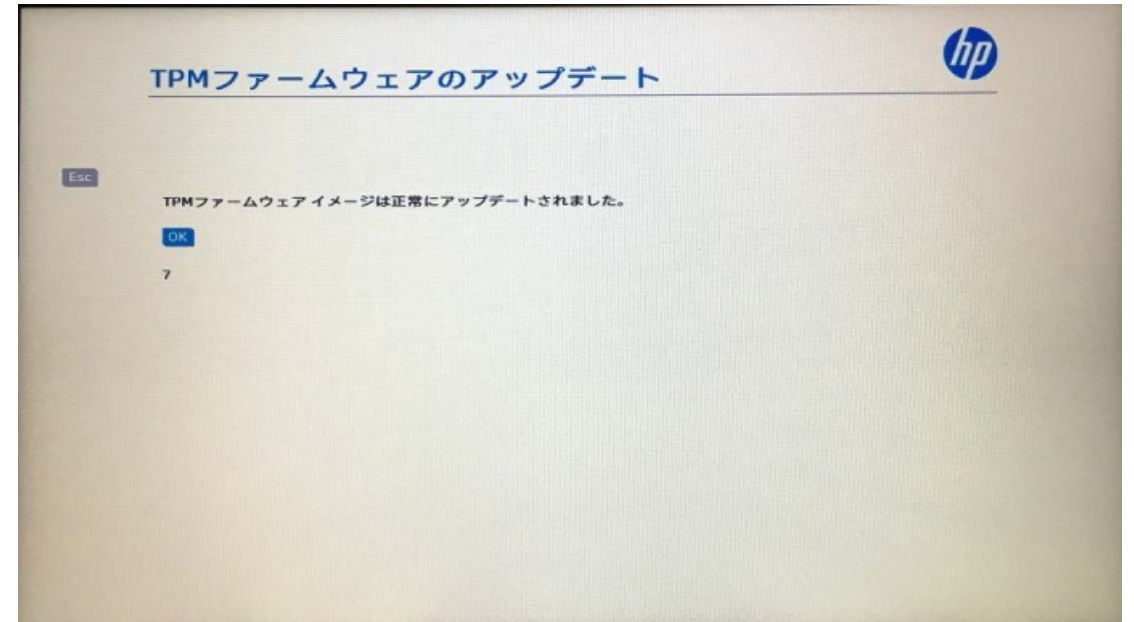
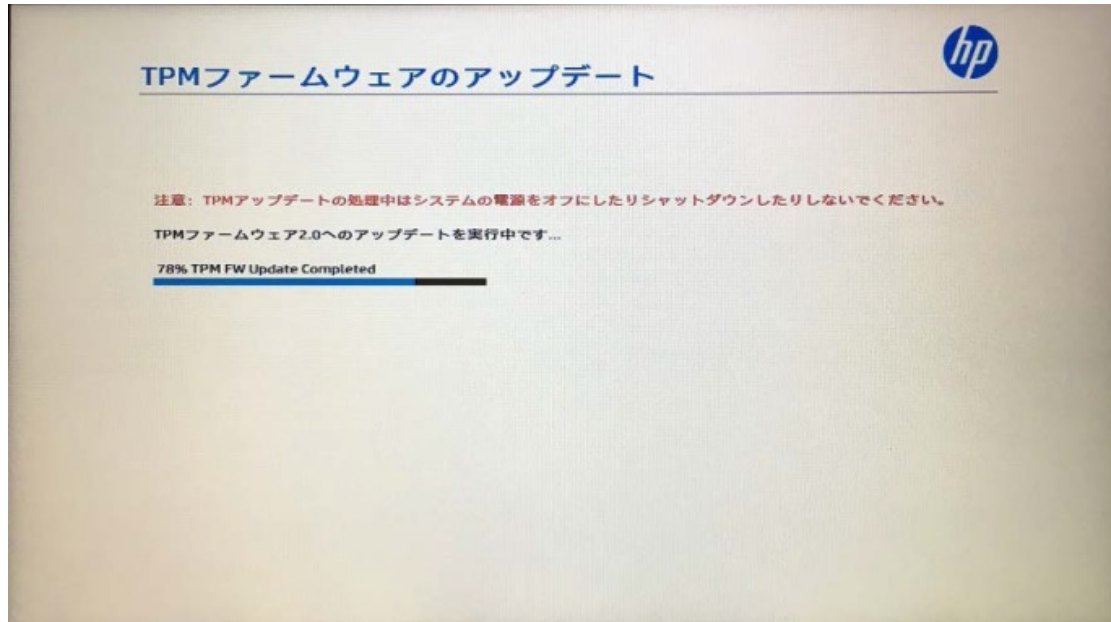
4.TPMのバージョンアップグレード

9. Tpm Ppi の画面が表示される場合があります。変更を承諾するため F1 キーを押します。
10. TPMファームウェアのアップデート要求の画面になります。もう一度 F1 キーを押して承諾します。



4.TPMのバージョンアップグレード

11. TPMファームウェアのアップデートの画面となり、TPM version 変更が実施されます。数秒程度で完了します。
12. TPM version の変更が完了したら、Enterキーを押すか 15秒待つと端末が起動されます。



HP Image Assistantを使用した アップグレード手順の簡略化

HP Image Assistantを使用したWindows 10 Proへのアップグレード手順

HP Image Assistantを使用する事で以下のアップグレード手順の1、2、4、を簡略化できます。

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバリ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグレード（2015年以降のモデル）

※Windows 10 Pro へのアップグレードを実施する前にユーザーデータのバックアップを実施し、アップグレードの完了後にバックアップしたユーザーデータを復元してください。

HP Image Assistantとは？

HP Image AssistantはITシステム管理者に対してWindows PCのOSイメージの品質とセキュリティの向上およびWindows10マイグレーションの支援を提供します。



イメージの分析

対象PCのOSイメージを分析して、問題の特定および推奨するドライバーやソフトウェアを提供します。



OSの移行

Windows 7/8.1からWindows 10へのマイグレーションを支援するために必要なスクリプトやソフトウェアパッケージを提供します。

HP Image Assistantの入手方法

HP Image Assistantは以下のURLより無償でダウンロード可能です。

<http://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/cmit/HPIA.html>

HP Image Assistant (HPIA)

- **HPIA 2.0 User Guide will be available soon**
- [HPIA Quick Start Guide](#)
- [HPIA Supported Platforms](#)

Version	Softpaq #	Date	OS	Softpaq Exe
2.0.10.1	sp78968	01/23/2017	Windows (7, 8.1, 10)	sp78968.exe
1.5.8.1	sp77738	09/30/2016	Windows (7, 8.1, 10)	sp77738.exe

DESCRIPTION:

This package provides the HP Image Assistant (HPIA) for supported notebook, desktop, and workstation models that are running a supported operating system.

The HP Image Assistant is a free tool that provides assistance to IT System Administrators to improve the quality and security of their PC Windows image by diagnosing the image, identifying problems, recommending solutions, and analyzing your PC's readiness for migration to and from Windows 7 or Windows 10.

VERSION 2.0.10.1

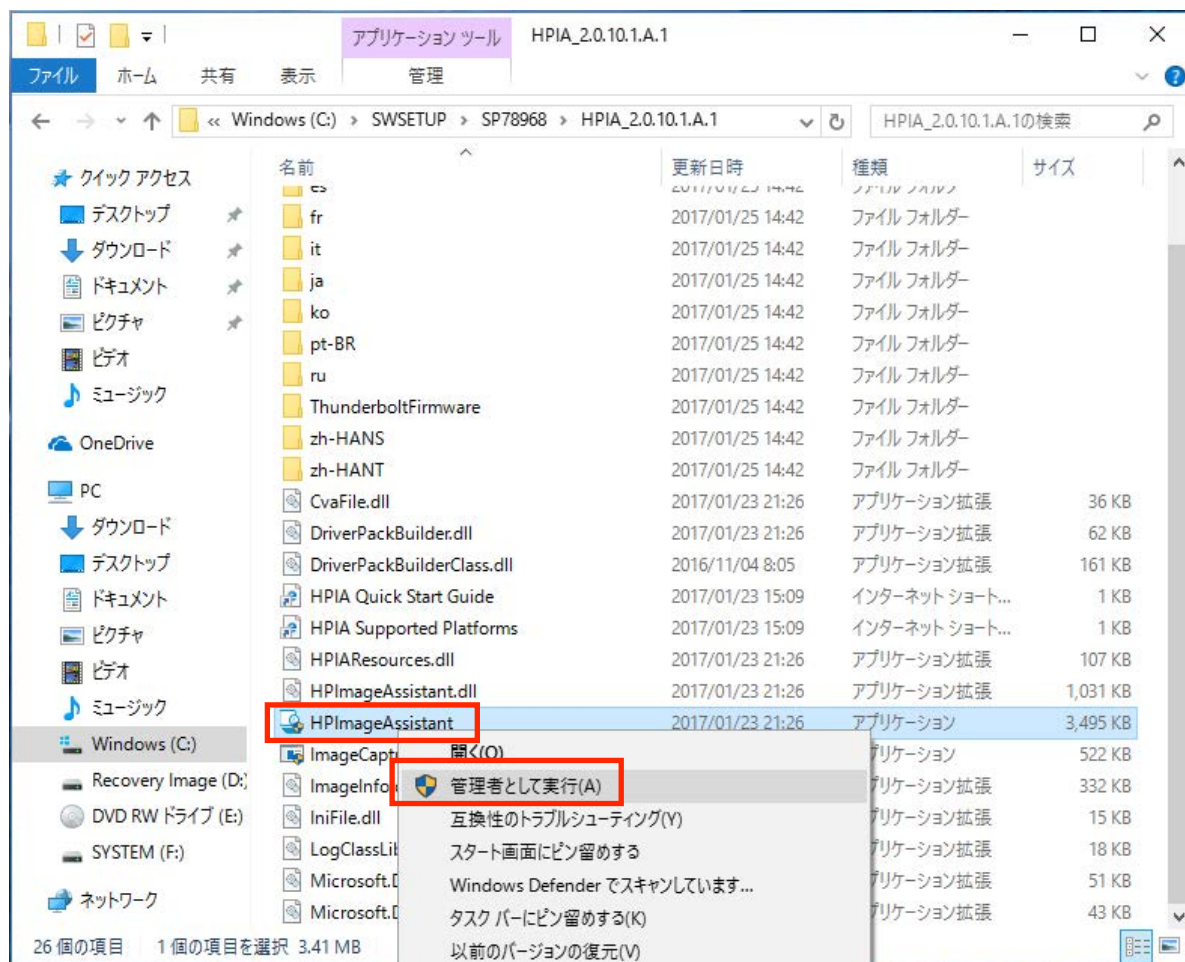
- Provides feature to assist with Windows OS migration.
- Provides limited firmware update support.
- Improves recommendations for all platforms.
- Provides dependency information for the softpaq.

HP Image Assistantのサポート対象の機種は下記URLからご確認ください。
<http://ftp.hp.com/pub/caps-softpaq/cmit/imagepal/ref/platformList.html>

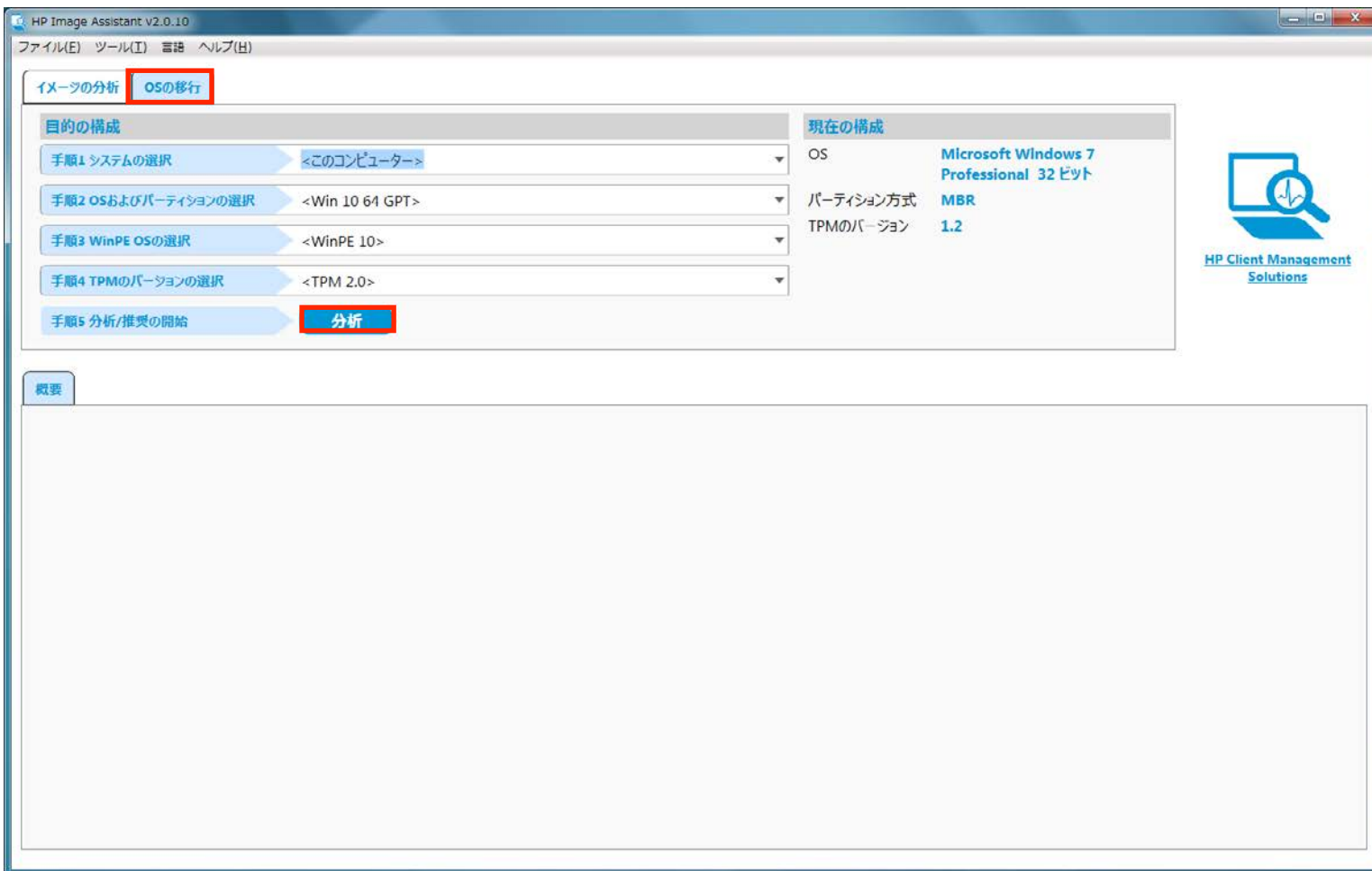
HP Image Assistantの起動方法

ダウンロードしたSoftpaqを実行して展開します。

展開したフォルダ内の“HPImageAssistantを右クリックして” 管理者として実行 “を選択します。



OSの移行のための構成を指定



Windows 10への移行支援を行うには[OSの移行]タブを選択し、以下の構成を選択して分析を開始します。

- システムの選択
 - このコンピュータまたはイメージ構成ファイル
- OSおよびパーティションの選択
 - Win10 64 GPT
- WinPE OSの選択
 - WinPE 10
- TPMのバージョンの選択
 - TPM 2.0

分析の結果の確認

The screenshot shows the HP Image Assistant v2.0.10 interface. The top section displays the 'OSの移行' (OS Migration) tab with a progress bar for '手順5 分析/推奨の開始' (Step 5: Start analysis/recommendation) and a '分析' (Analyze) button. Below this, the '現在の構成' (Current Configuration) is shown as:

- OS: Microsoft Windows 7 Professional 32ビット
- パーティション方式: MBR
- TPMのバージョン: 1.2

The bottom section, titled '推奨事項' (Recommendations), contains a table of tasks:

タスク	推奨パッケージ	注意点
1 ユーザーデータのバックアップ	なし	移行プロセスでは、すべての情報がシステムドライブから消去されます。移行する前に、必要な情報をバックアップしてください。
2 WinPEイメージの作成	WinPEドライバー パック	WinPEイメージをカスタマイズするためのWinPEドライバー パック
3 BIOSセットアップ パスワード	暗号化されたパスワードファイル	パスワードを設定することを強くおすすめします。
4 BIOSの更新	BIOSの更新と復元	最新のBIOSに更新することを強くおすすめします。
5 BIOS設定の更新	BIOSの構成	OSの移行に必要なBIOS設定
6 ディスクのパーティション分割	なし	再起動が必要で Microsoftの標準推奨事項を使用します。
7 OSの適用	なし	Microsoftの標準推奨事項を使用します。
8 TPMの更新	TPMの構成	最新のTPMファームウェアに更新することをおすすめします。再起動および操作が必要になる場合があります。
9 ドライバーのインストール	ドライバー パック	ドライバー パッケージを適用します
10 ソフトウェアのインストール	HPが推奨するソフトウェア	ハードウェア有効化ソフトウェアおよびその他のソフトウェア
11 ファームウェアの更新	ファームウェア	ファームウェアの更新プログラムを適用します
12 ユーザーデータの復元	なし	最初のタスクでバックアップしたユーザー データを復元します

分析が完了するとOSの移行に必要なタスクが表示されます。

※ここで提供されるタスクおよびパッケージはOS移行ワークフローを支援するためのもので、お使いの環境に合わせて調整することが必要になる場合があります。

推奨パッケージのダウンロード-1

推奨事項タブを表示して推奨パッケージをダウンロードします。

※ここで提供されるタスクおよびパッケージはOS移行ワークフローを支援するためのもので、お使いの環境に合わせて調整することが必要になる場合があります。

The screenshot shows the HP Image Assistant v2.0.10 interface. The 'OSの移行' (OS Migration) tab is active. The '目的の構成' (Target Configuration) section shows the following steps:

- 手順1 システムの選択: <このコンピューター>
- 手順2 OSおよびパーティションの選択: <Win 10 64 GPT>
- 手順3 WinPE OSの選択: <WinPE 10>
- 手順4 TPMのバージョンの選択: <TPM 2.0>
- 手順5 分析/推奨の開始: 分析

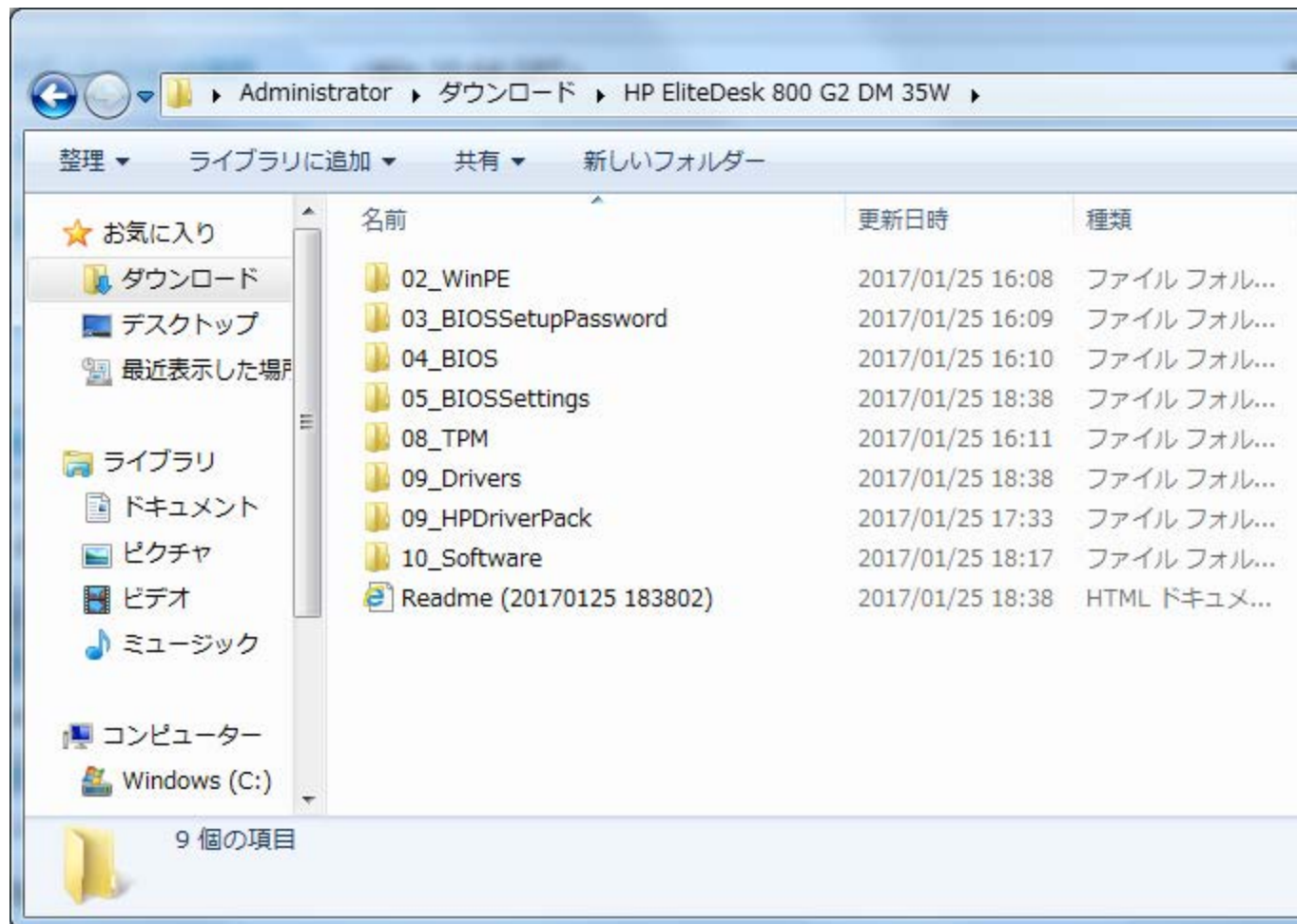
The '現在の構成' (Current Configuration) section shows:

- OS: Microsoft Windows 7 Professional 32 ビット
- パーティション方式: MBR
- TPMのバージョン: 1.2

The '推奨事項' (Recommended Items) tab is selected. A 'ダウンロード (20)' button is highlighted in red. Below it is a table of recommended packages:

ソリューション	ソリューションの詳細	パッケージ	コメント
WinPEドライバパック			
<input checked="" type="checkbox"/> WinPE 10	1.20	SP77392	WinPEドライバパック
BIOSセットアップ パスワード			
<input checked="" type="checkbox"/> 新しいBIOSセットアップ パスワード	なし	暗号化されたパスワードファイル	選択したシステムにはBIOCが必要です。
<input type="checkbox"/> 現在のBIOSセットアップ パスワード	なし	暗号化されたパスワードファイル	選択したシステムにはBIOCが必要です。
BIOS			
<input checked="" type="checkbox"/> HP EliteDesk 800 G2 DM 35W	02.21	SP78223	選択したシステムのBIOS
BIOSの設定			
<input checked="" type="checkbox"/> Clear TPM	On next boot	BCUスクリプト	更新が必要です 再起動時に操作が必要
<input checked="" type="checkbox"/> Configure Legacy Support and Secure Boot	Legacy Support Disable and Secure Boot Enable	BCUスクリプト	更新が必要です
<input checked="" type="checkbox"/> Configure Option ROM Launch Policy	All UEFI	BCUスクリプト	更新が必要です
<input checked="" type="checkbox"/> Fast Boot	Enable	BCUスクリプト	更新が必要です
<input checked="" type="checkbox"/> Legacy Boot Options	Enable	BCUスクリプト	選択したシステムのBIOS

ダウンロードしたパッケージの確認



ダウンロードしたパッケージは移行タスクのステップ順にフォルダ分けされた保存されています。

Readmeを開くと移行のレポートを確認できます。

HP Image Assistantを使用したWindows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

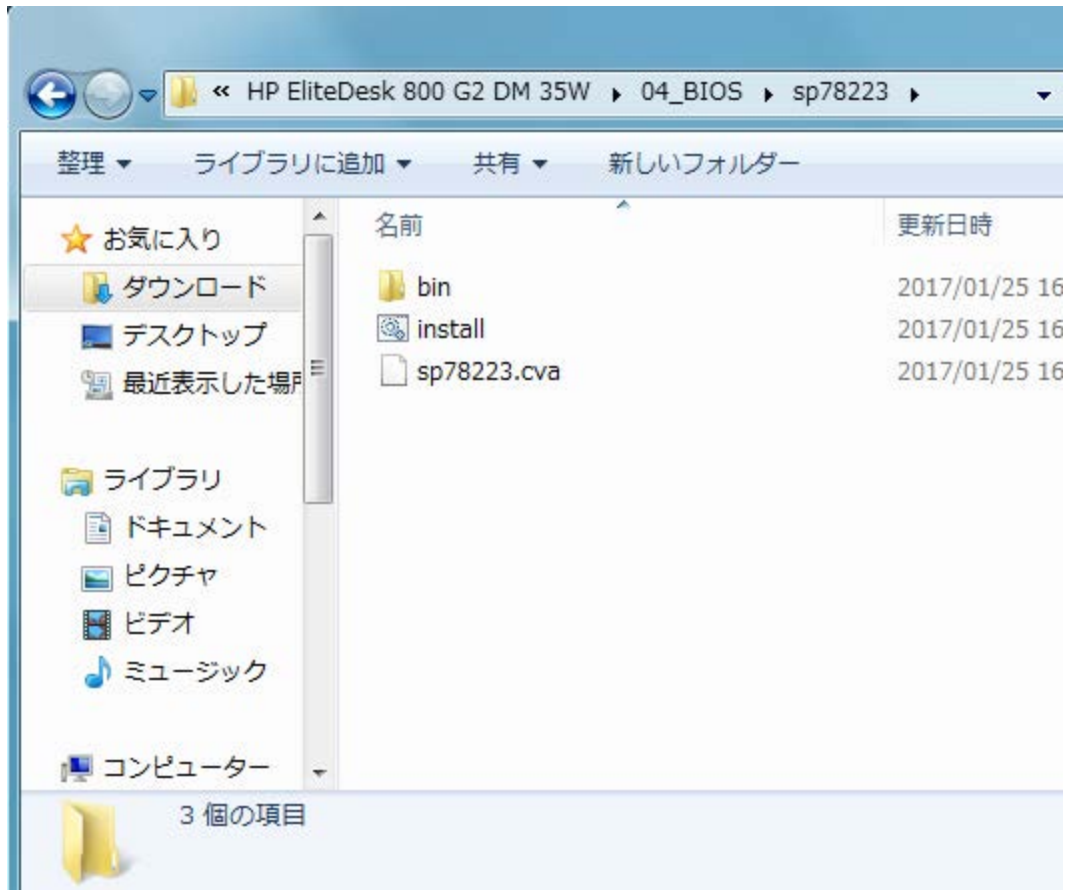
3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

HP Image Assistantを使用したBIOSアップグレード



ダウンロードしたパッケージの“04_BIOS”フォルダには、推奨されるバージョンのBIOSが含まれています。

spxxxxxフォルダ内の“install”を実行する事で、BIOSを推奨されるバージョンに更新する事ができます。

HP Image Assistantを使用したWindows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

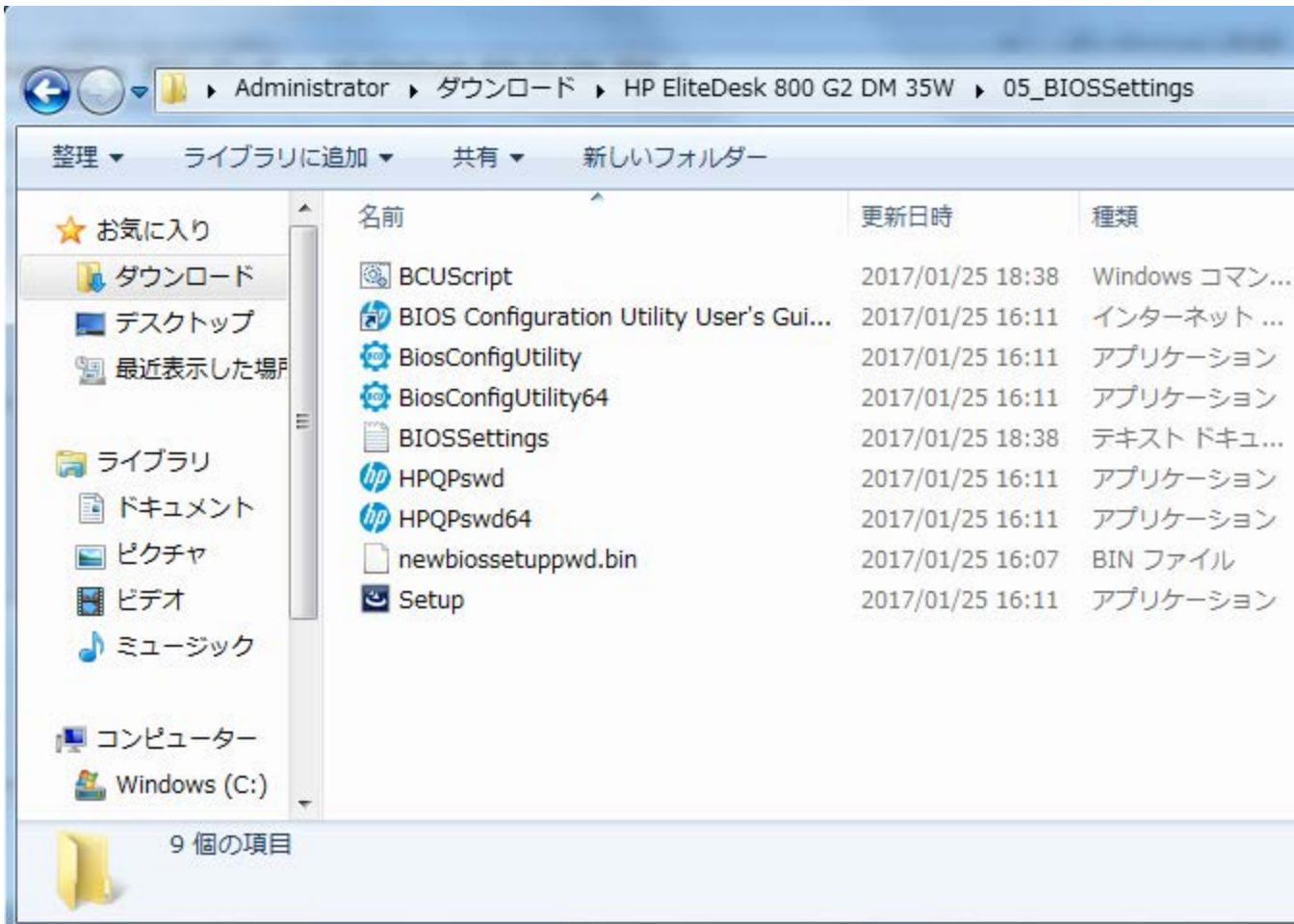
4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

HP Image Assistantを使用したBIOS設定変更

ダウンロードしたパッケージの“05_BIOSSettings”フォルダ内にはBIOS Config Utilityツールおよびそのツールを使用してBIOS設定を変更するためのBIOS設定ファイルや変更を実行するためのスクリプトが含まれています。

フォルダ内の“BCUScript”を実行する事でPCのBIOS設定をWindows 10をインストールするために必要なBIOS設定に変更する事ができます。



HP Image Assistantを使用したWindows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

3

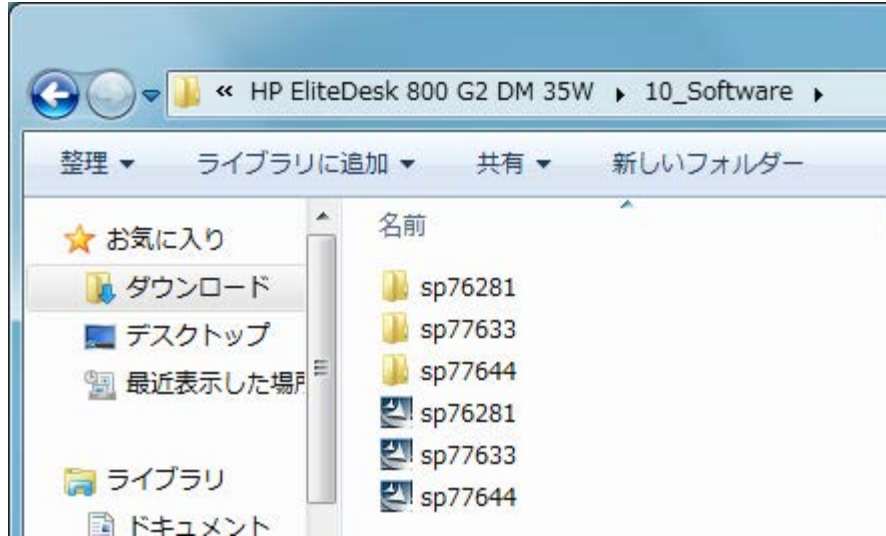
Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

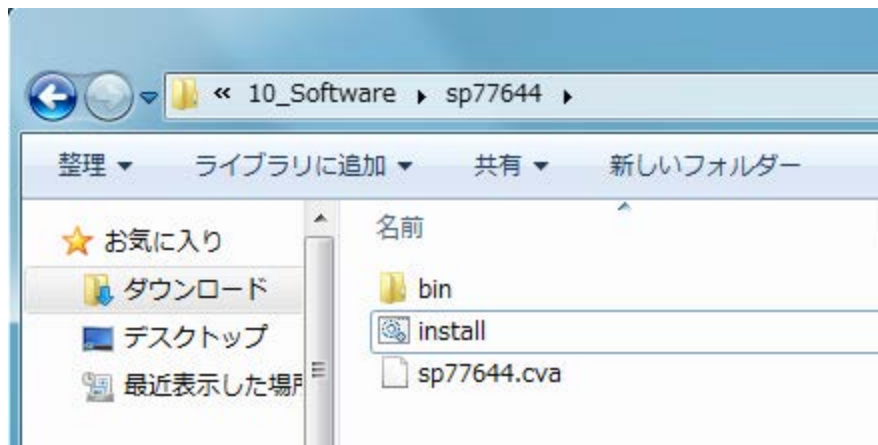
※Windows 10インストールの手順はHP Image Assistantを使用しない場合と同じです。

HP Image Assistantを使用した推奨ソフトウェアのインストール



ダウンロードしたパッケージの“10_Software”フォルダには、Windows 10用のHP推奨ソフトウェアが含まれています。

spxxxxxフォルダ内の“install”を実行する事で、ソフトウェアをインストールする事ができます



HP Image Assistantを使用したWindows 10 Proへのアップグレード手順

1

BIOSを最新バージョンにアップグレード

2

BIOS設定をWindows 10用に変更

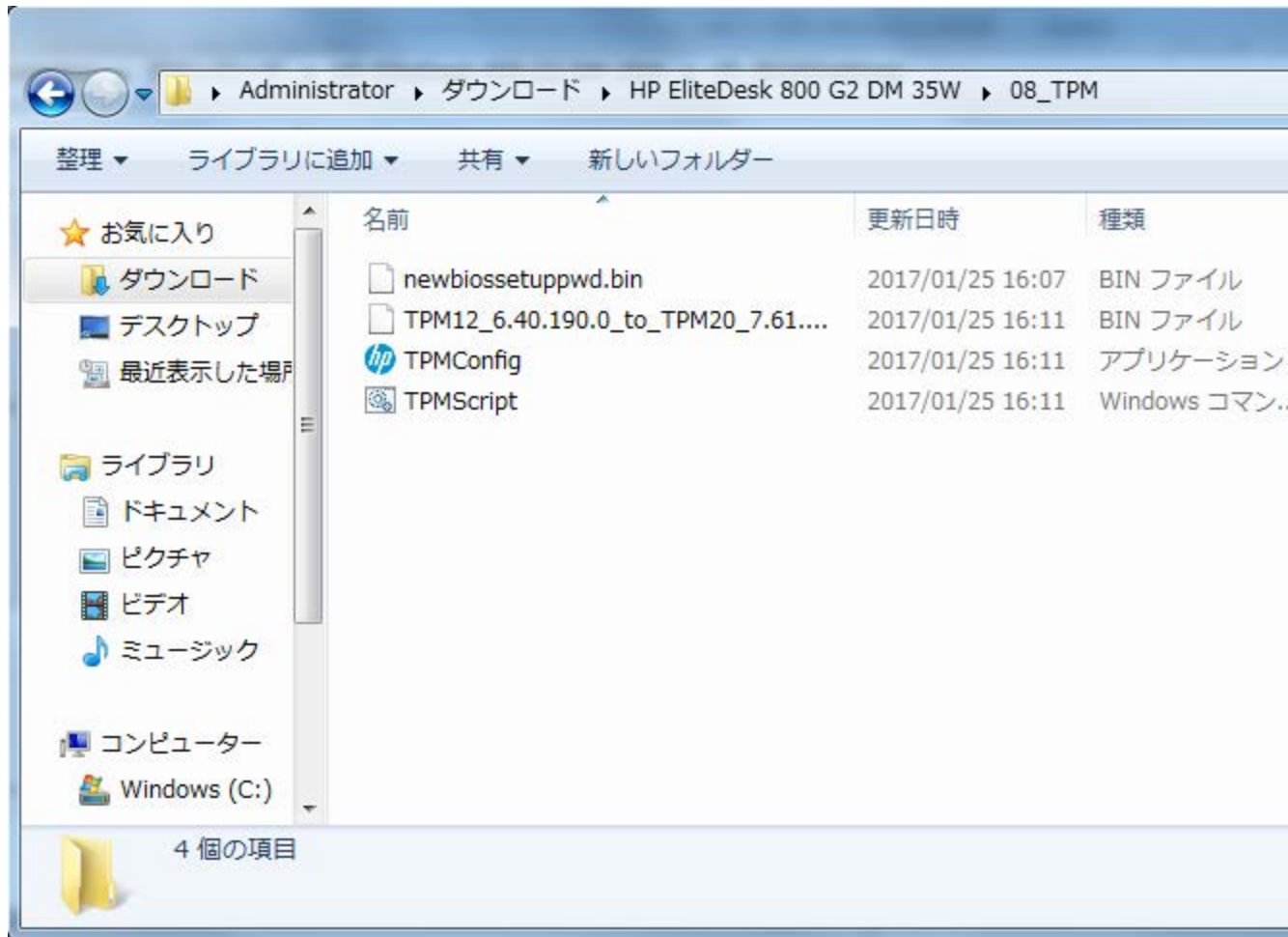
3

Windows 10リカバリ用DVDメディアまたは
HP Cloud Recovery Download Toolで作成したWindows 10リカバ
リ用USBドライブを使用してWindows 10をインストール

4

TPM Configツールを使用してTPMをバージョン2.0にアップグ
レード（2015年以降のモデル）

HP Image Assistantを使用したTPMバージョンアップグレード



ダウンロードしたパッケージの“08_TPMScript”フォルダ内にはTPMConfigツールおよびそのツールを使用してTPMバージョンを変更するために必要なファイル一式が含まれています。

フォルダ内のTPMScriptを実行する事でTPMバージョンを1.2→2.0に更新する事ができます。

Thank you

